

第9次様似町総合計画策定に係る
住民アンケート調査

調査結果概要報告書

令和2年5月

様似町企画調整課

目 次

調査の概要	2
1. 基礎調査	3
【問 1】〈家族構成〉、〈年齢〉、〈職業〉、〈居住地〉、〈住居形態〉、〈居住年数〉	
2. これまでの様似町について	
【問 2、4】 様似町の住みやすさ	6
【問 5】 様似町の満足度	12
3. これからの様似町について	
【問 6】 様似町の将来像	12
【問 7】 住みやすいまちづくりに必要な施策	13
【問 8】 行政に関すること	14
【問 9～11】 町民の行政参加	14
【問 12】 いきがい	16
【問 13～15】 地域活動	16
【問 16】 行財政改革に関すること	18
【問 17】 市町村合併や行政広域化	19
【問 18～19】 防災に関する意識	19
【問 20】 通信整備に関する施策	20
【問 21～23】 買い物に関すること	20
【問 28】 日頃の行動等について	23
【問 3】 様似の将来像	25
【問 24】 まちづくりのアイデアについて	32
【問 25】 行政に関すること	36
【問 26】 10年後のあるべき姿について	39
【問 27】 様似の「良いところ・好きなところ」	40

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、令和3年4月からスタートする『第9次様似町総合計画』を策定するにあたり、「住民のみなさんが何を望み、何を求めているのか」を把握し、まちづくりに必要となる施策に反映させるために実施しました。

2. 調査の方法

- | | |
|--------|----------------------|
| ①調査地域 | 様似町全域 |
| ②調査対象 | 全世帯 |
| ③サンプル数 | 1,918世帯 |
| ④調査方法 | 自治会のご協力による配布、回収 |
| ⑤調査期間 | 令和元年8月2日から令和元年10月31日 |

3. 調査の内容

1. 基礎調査

【問1】 〈家族構成〉、〈年齢〉、〈性別〉、〈職業〉、〈居住地〉、
〈住居形態〉、〈居住年数〉

2. これまでの様似町について

【問2、4】 様似町の住みやすさ

【問5】 様似町の満足度

3. これからの様似町について

【問3、6】 様似町の将来像

【問7】 住みやすいまちづくりに必要な施策

【問8、25】 行政に関すること

【問9～11】 町民の行政参加

【問12】 生きがい

【問13～15】 地域活動

【問16】 行財政改革に関する施策

【問17】 市町村合併や行政広域化

【問18～19】 防災に関する意識

【問20】 通信整備に関する施策

【問21～23】 買い物に関すること

【問24】 まちづくりのアイディアについて

【問26】 10年後のあるべき姿について

4. その他

【問27】 様似の「良いところ・好きなところ」

【問28】 日頃の行動等について

4. 配布の状況

- | | |
|--------|---------|
| ①配 布 数 | 1,918世帯 |
| ②回 収 数 | 806世帯 |
| ③回 収 率 | 42.02% |

5. 集計

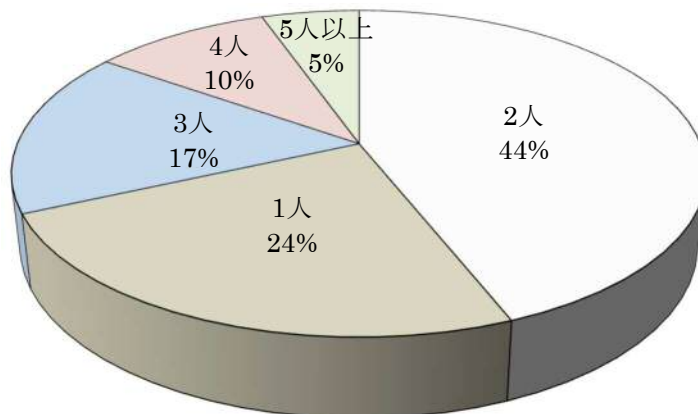
- ①回答比率は、その設問の回答者数を基数として算出しています。そのため、複数回答の場合には、すべての回答率を合計すると100%を超えることがあります。

1 基礎調査

【家族の人数】

回答数：721

「2人世帯」の割合が44%と最も多く、次いで「1人世帯」が24%、3人世帯が17%、「4人世帯」が10%となっており、「5人以上の世帯」は5%と最も低い割合となっております。



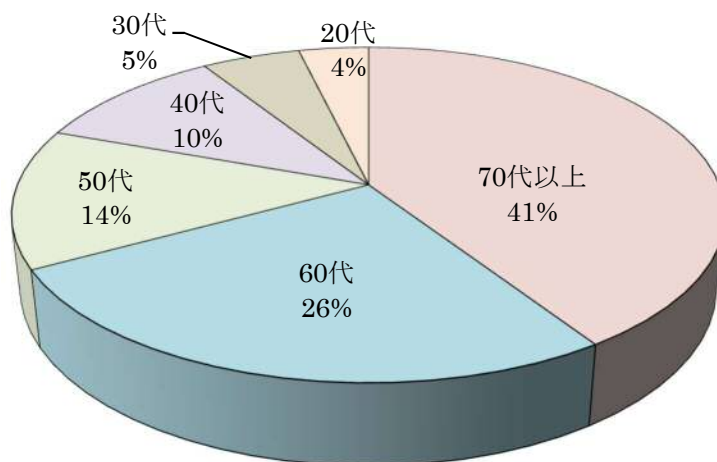
～分析～

10年前と比べ、「2人世帯」「1人世帯」の割合が上昇、「3人世帯」以上の割合が減少しており、核家族化が顕著に表れる結果となっております。

【世帯主の年齢】

回答数：719

「70代以上」が41%と最も多く、次いで「60代」が26%、60代以上の占める割合が50%を超えている状況です。一方、50代以下の割合は約33%程度で低い数値となっております。



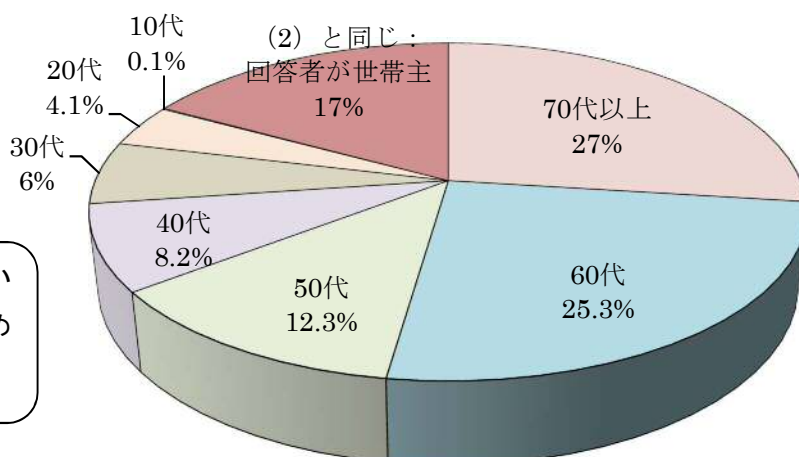
～分析～

10年前と比べ、「70代以上」「60代」の割合が上昇。特に「70代以上」は12%程度上昇しており、高齢化がさらに加速している状況が続いています。

【回答者の年齢】

回答数：744

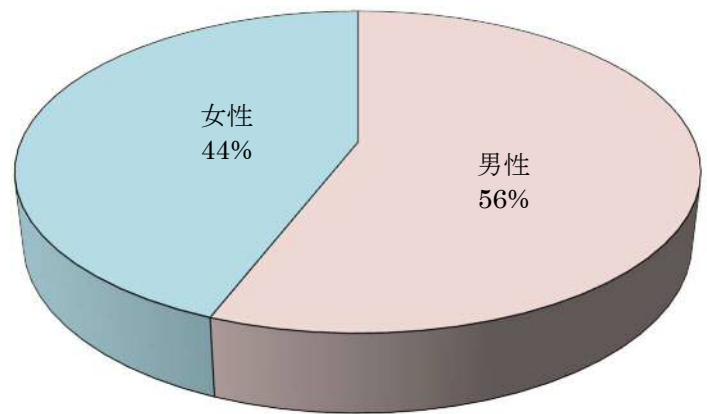
「70代以上」が27%と最も多く、次いで「60代」が25.3%、60代以上の占める割合が50%を超えている状況です。



【性別】

回答数：678

「男性」が56%、「女性」が44%となっており、男性が多くなっております。

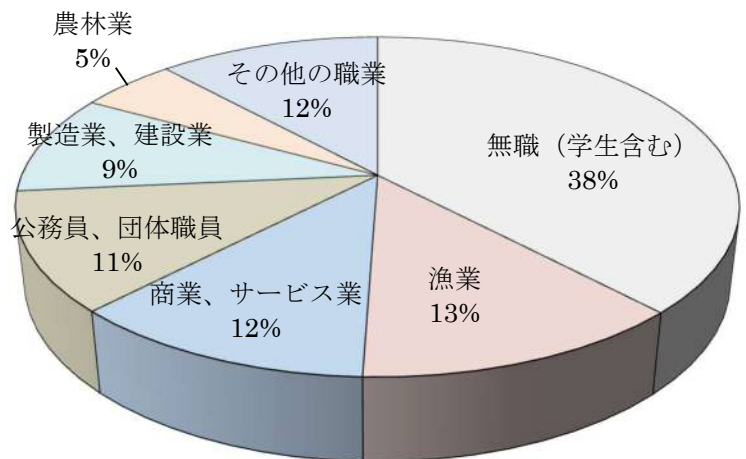


【職業】

回答数：736

(その他職業内訳)

IT、パート、年金生活、会社員
運転手、簡易局受託者、運送業、
生活保護者、医療関係、競走馬生産
アルバイト、主婦業、会社員、
軽種馬生産、給食補助、昆布の加工
主婦、宗教



「無職」が38%と最も多く、次いで「漁業」が13%、「商業・サービス業」が12%、「公務員・団体職員」が11%、「製造業・建設業」が9%、「農林業」が5%、「その他の職業」は12%となっております。

～分析～

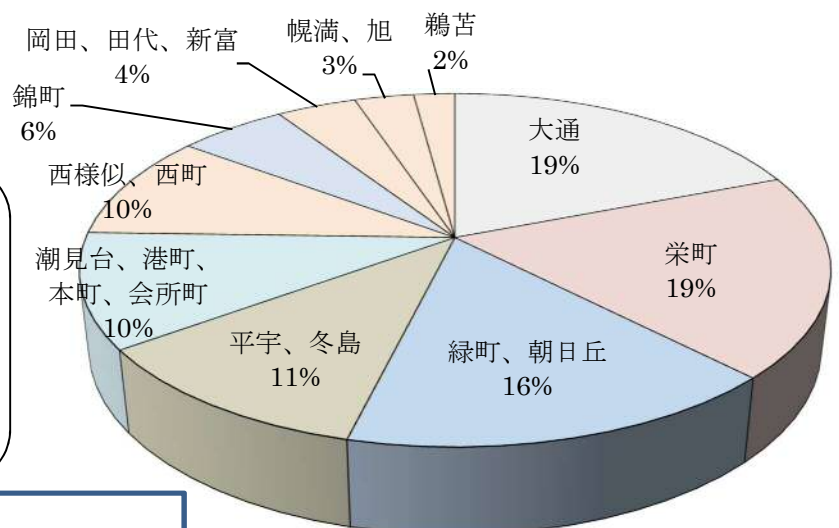
高齢者の占める割合が高くなっているため、「無職 (学生含む)」の割合も10年前に比べ上昇。「漁業」をはじめとした他の職業については、横ばいか微減となっています。

第一次産業のみならず、各業界における後継者不足や就業者不足といった現状がうかがえます。

【居住地区】

回答数：754

「大通」「栄町」が19%と最も多く、
次いで「緑町、朝日丘」が16%、「平
宇・冬島」が11%、「本町地区」「西様
似・西町」が10%、以下「錦町」、「田
代・岡田・新富」、「幌満・旭」、「鵜
苫」の順となっております。



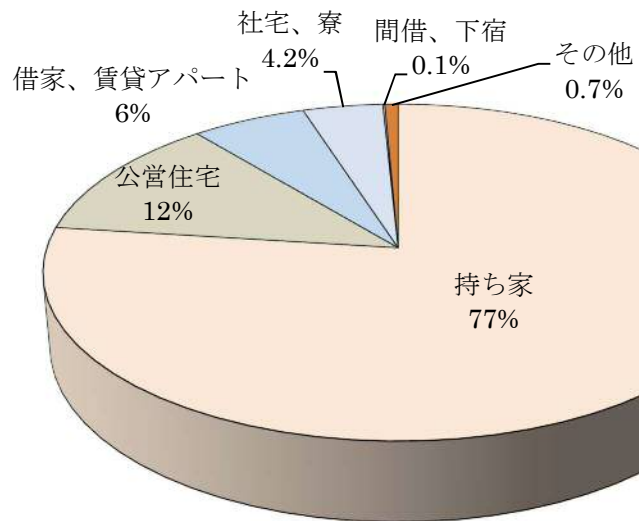
～分析～

回答者の居住状況によりどうしても偏りが生じてくる部分もありますが、10年前と比べ、大きな変動はありません。

【住居形態】

回答数：738

「持ち家」の割合が 77%と非常に高く、次いで「公営住宅」が 12%、「借家、賃貸アパート」が 6%、「社宅、寮」が 4.2%、「間借・下宿」が 0.2%、「その他」が 0.7%となっております。



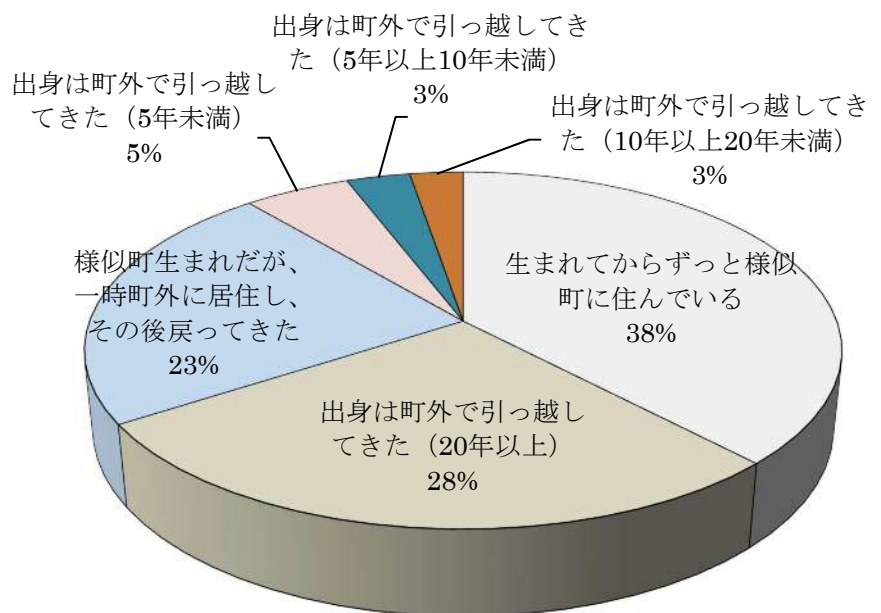
～分析～

10 年前と比べ、「持ち家」の割合が若干上昇しています。

【居住年数（通算居住年数）】

回答数：753

「生まれてからずっと様似に住んでいる」の割合が 38%と最も高く、次いで「出身は町外で様似町に引っ越してきた（20 年以上）」が 28%、「様似町生まれだが、一時町外に居住し、その後戻ってきた」が 23%、次いで「出身は町外で引っ越してきた（5 年未満）」が 5%、「出身は町外で引っ越してきた（5 年以上 10 年未満）」、「出身は町外で引っ越してきた（10 年以上 20 年未満）」がともに 3%となっております。



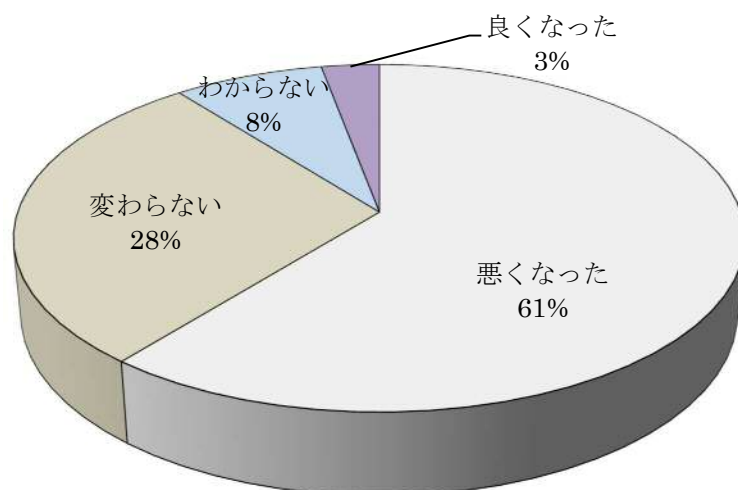
～分析～

10 年前と比べ、町外出身者の割合がわずかながら上昇しています。
様似町での「新規就業」等による転入者増によるものと考えられます。

2 様似町の住みやすさについて

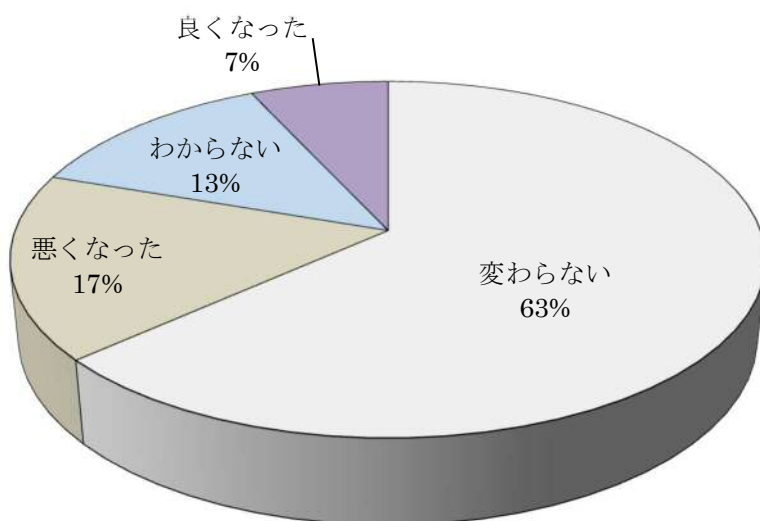
【交通の利便】

回答数：743



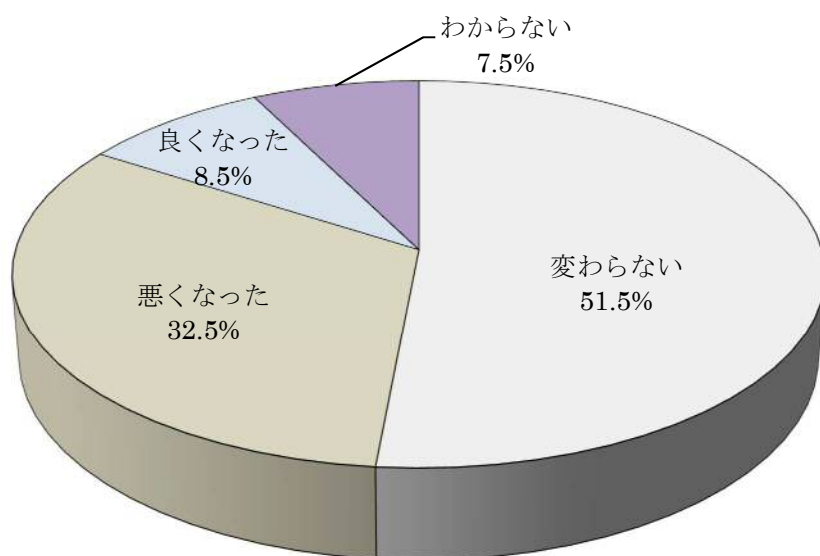
【自然環境】

回答数：724



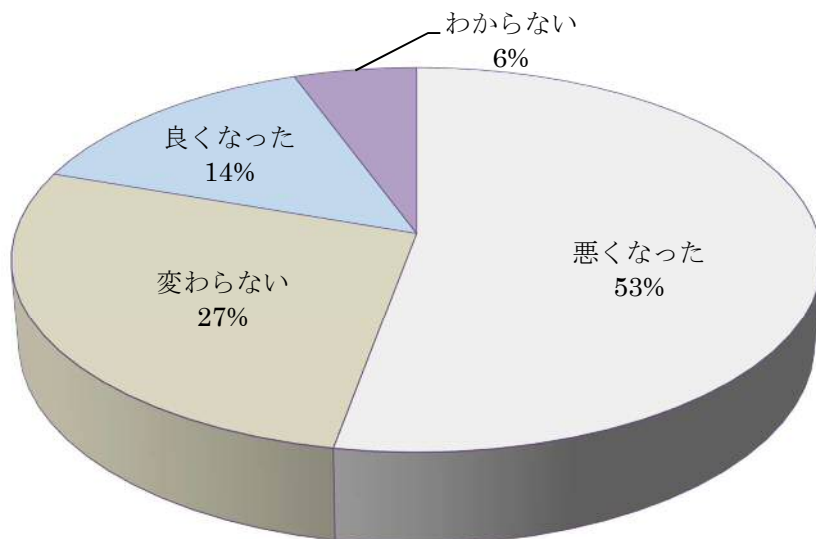
【生活環境】

回答数：720



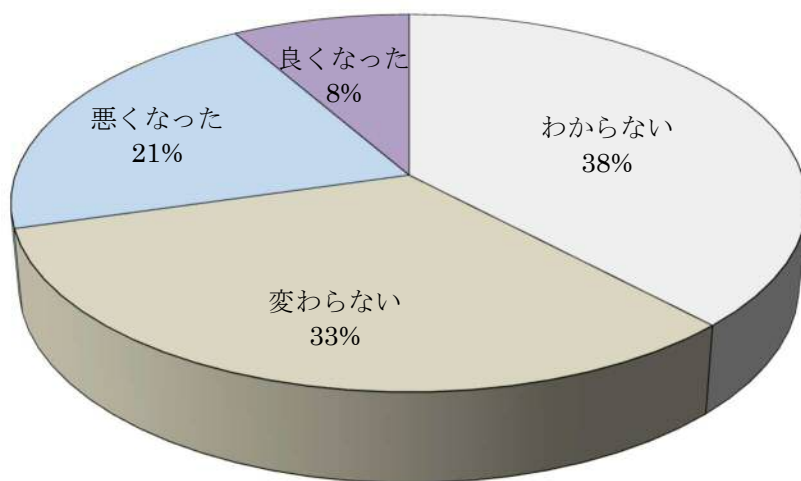
【買い物環境】

回答数：732



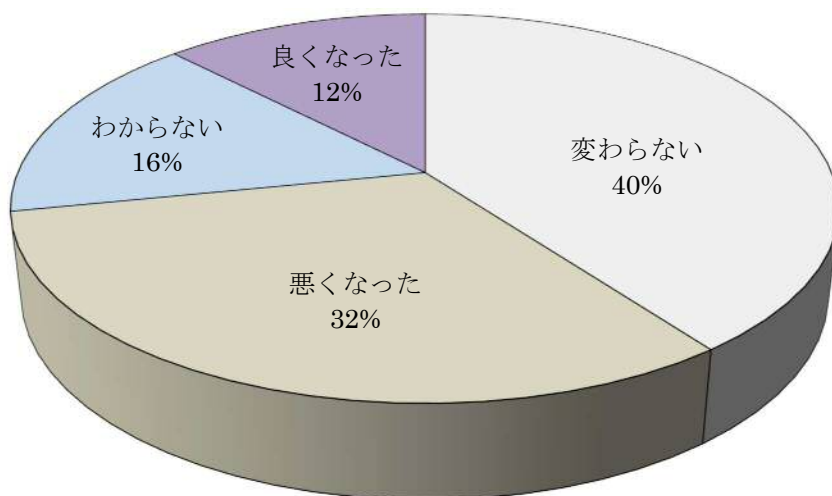
【教育環境】

回答数：709



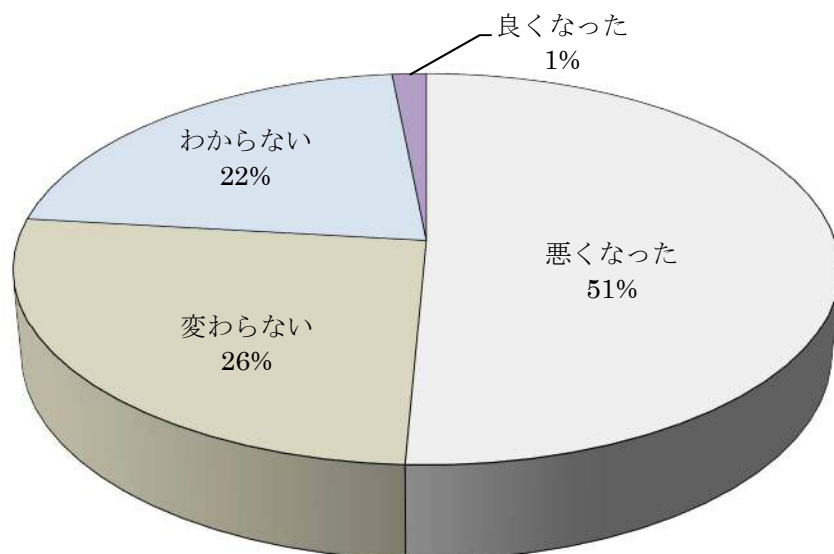
【医療、福祉】

回答数：731



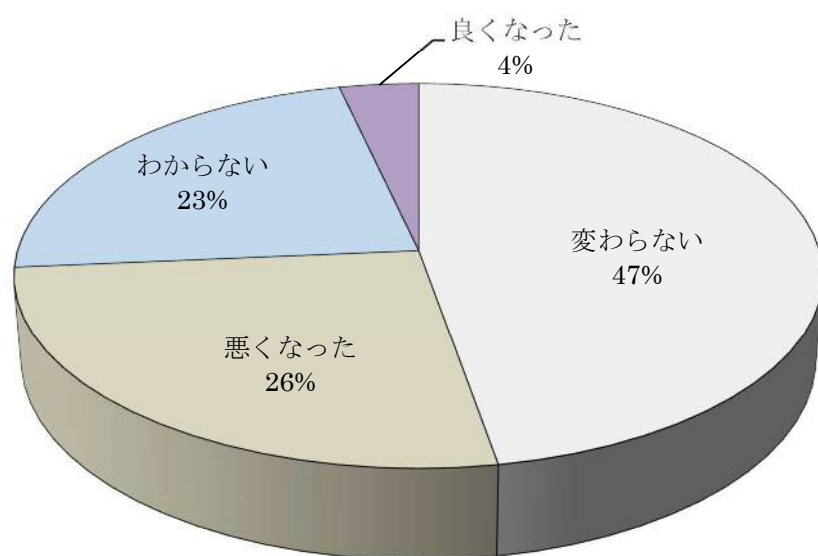
【働く場所】

回答数：712



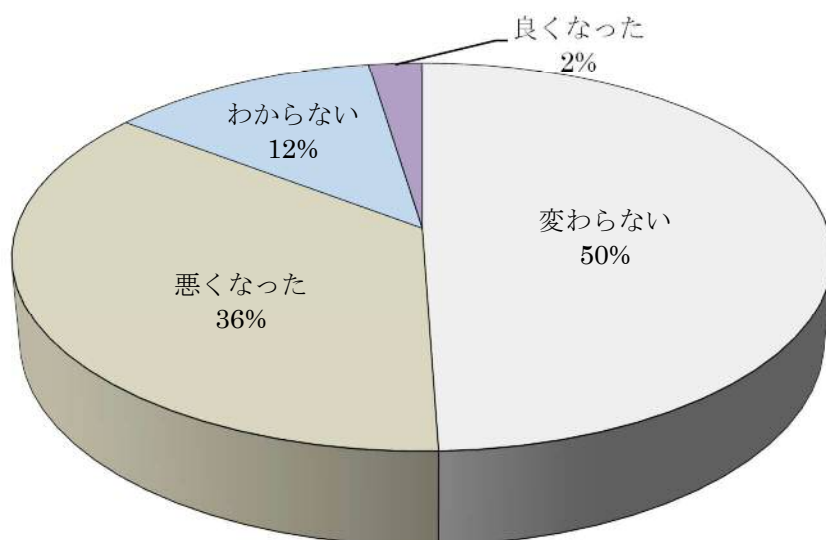
【地域の連帯感】

回答数：724



【暮らし向き】

回答数：744



～分析～

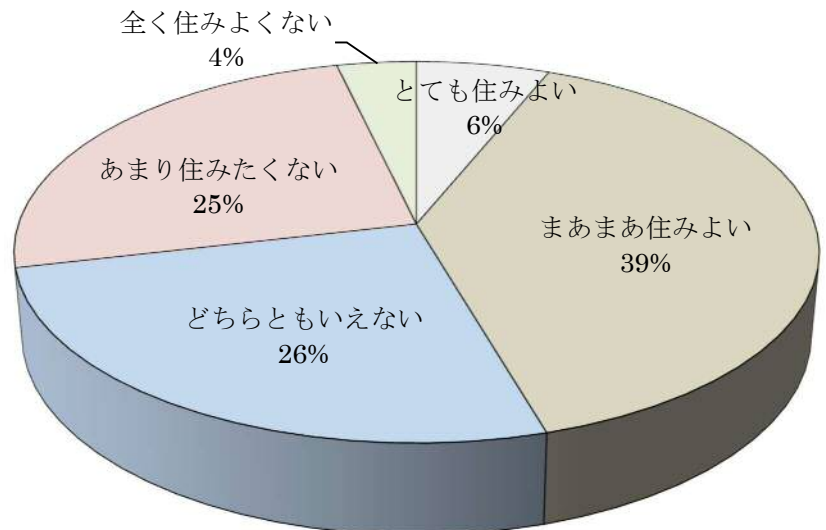
【様似町の住みよさ】

- ・「交通の利便」は 10 年前と比べ、「悪くなった」の割合が急激に上昇しています。運休となっている JR 日高線の影響も考えられます。
- ・「自然環境」、「生活環境」、「地域の連帯感」、「暮らし向き」は 10 年前と比べ、ほぼ横ばいとなっております。
- ・「買い物環境」は、10 年前と比べ、「悪くなった」の割合が上昇した一方、「良くなった」の割合も微増しています。コンビニエンスストアやドラッグストアなどのチェーン店が増えて便利になった反面、小売店は減少する一方で、不便さを感じる声も高まっております。
- ・「教育環境」は 10 年前と比べ、ほぼ横ばいですが、「悪くなった」の割合が減少しています。小学校の改築など教育施設の整備等により、充実した教育環境のもと、快適な学校生活が送れていることが伺えます。
- ・「医療、福祉」は 10 年前と比べ、「変わらない」の割合が上昇しています。
- ・「働く場所」は 10 年前と比べ、「悪くなった」の割合が減少してはいるものの、「雇用の促進」を求める声が高まっております。

【まちの住みよさ】

回答数：761

「まあまあ住みよい」の割合が 39%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26%、「あまり住みたくない」が 25%となっております。



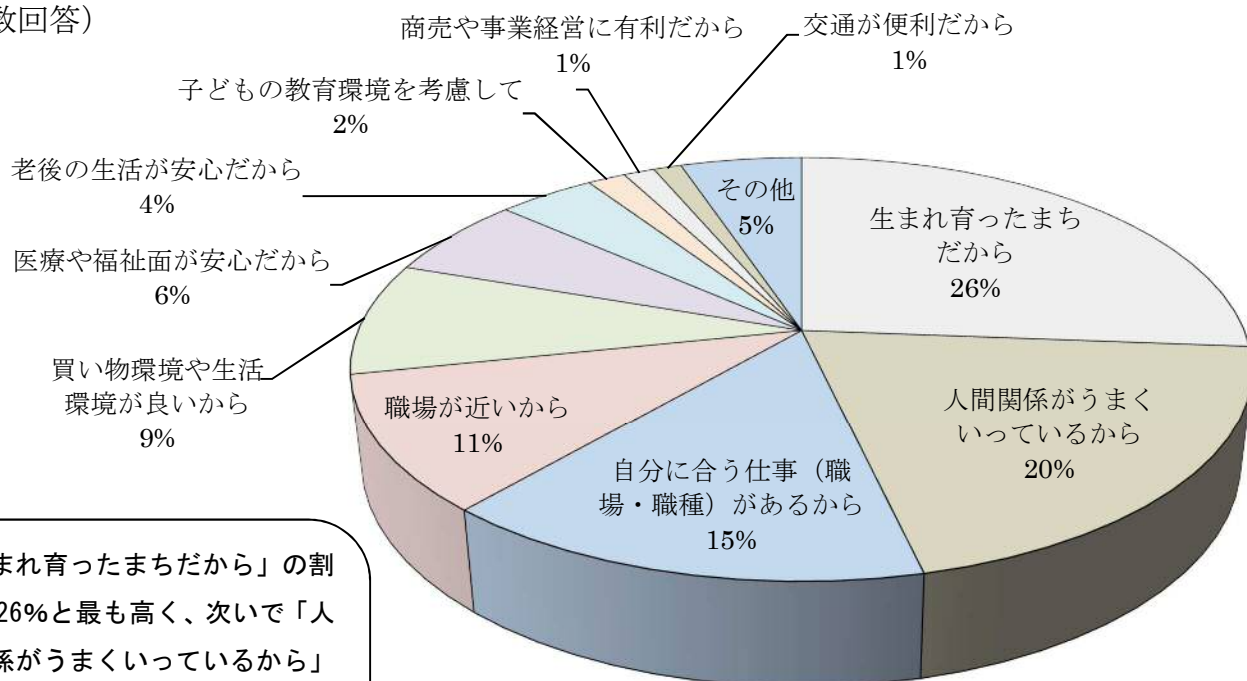
～分析～

10 年前と比べ、「まあまあ住みよい」、「とても住みよい」の割合が微減となっております。まちづくりを進めるうえで、「まちの住みよさ」は最重要事項の一つであり、「住んでよかった」、「住み続けたい」と実感できる地域の暮らしの魅力を高める取り組みが求められています。

【住みよさの理由】

回答数：675

(複数回答)



「生まれ育ったまちだから」の割合が26%と最も高く、次いで「人間関係がうまくいっているから」が20%、「自分に合う仕事（職場・職種）があるから」15%、「職場が近いから」が11%と高い割合になっております。

～分析～

住みよさの理由として、「人間関係」、「雇用環境」が高い割合を占めています。

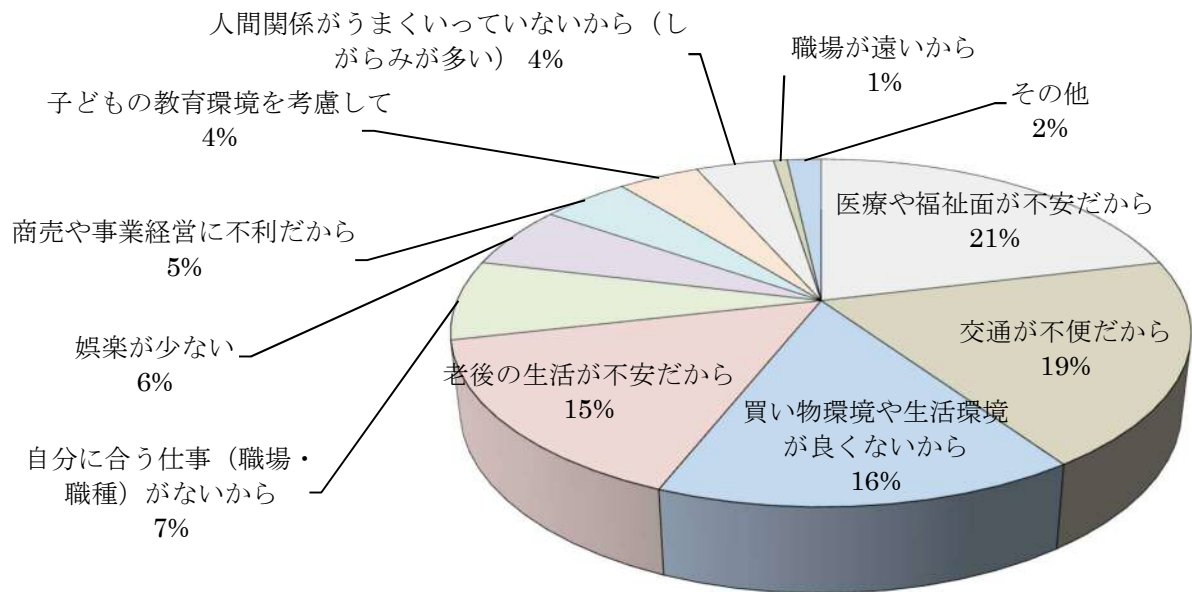
引き続き住みよさが実感できるように、多様化・高度化する住民ニーズに対応したきめ細かな行政サービスが求められています。

(その他理由)

- ・ とりあえず困ったことがない
- ・ 住めば都
- ・ 自然豊かな中で生活出来るから
- ・ 自然環境に恵まれているから
- ・ 気候がよい、夏涼しい、冬雪が少ない（温暖）
- ・ 実家があるから子育て手伝ってもらえる
- ・ 持家あるので…
- ・ 身の丈にあっているから…
- ・ 静かなまち
- ・ 75才になった今は、5,8,11があるだけで良いです。
- ・ 風が強いわけでもなく、坂道が多いわけでもなく、雪が多いわけでもない。自然環境。景色がきれい。
- ・ 気候が自分に合っている
- ・ 共存共栄
- ・ 小さい時からの友達がいるから
- ・ 自然、気候、食べ物

【住みよくない理由】

回答数：564（複数回答）



「医療や福祉面が不安だから」の割合が21%と最も高く、次いで「交通が不便だから」が19%、「買い物環境や生活環境が良くないから」が16%、「老後の生活が不安だから」が15%、と高い割合になっております。

～分析～

10年前に比べ、「医療や福祉面が不安」が減少している一方、「交通が不便」の割合が上昇しています。

JR 日高線の運休に伴う影響も考えられます。

（その他理由）

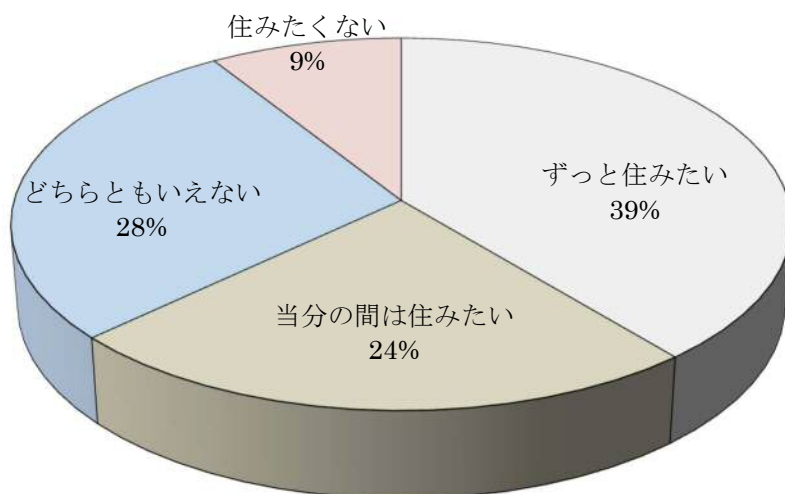
- ・ 外食産業が少ない
- ・ 水道水がとてもまずい。
- ・ 人口が少なすぎる
- ・ 依存が強い
- ・ ジオパークばかりになっている。
- ・ 将来に夢がない
- ・ 様似町は税金も高い水道代も高いとよくよその町の方に言われます。もう少し意味のある所にお金を使っていただきたい。
- ・ 水道料金が高いので。（使用料代金が）他の町では使用料はかかりません。
- ・ 街に活気がないから
- ・ 将来に夢がない。
- ・ 動物病院がないから。「VMAT（ブイマット）」の活動に繋がりより安心な町になっていったらと思います。

3 様似町の満足度

【この先の様似町での居住について】

回答数：720

「ずっと住みたい」の割合が39%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28%、「当分の間は住みたい」が24%、「住みたくない」は9%の割合となっております。



～分析～

10年前に比べ、「ずっと住みたい」、「当分の間は住みたい」の割合が微減となりました。
また、「若い人が住みやすいまち」にすべきなどといった意見も多く、若者の流出防止対策が求められています。

4 様似町の将来像

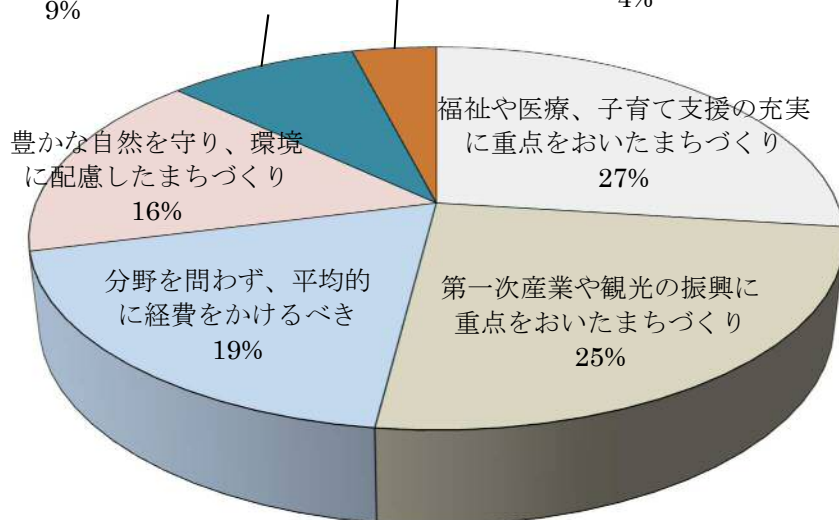
【様似町の進むべき道】

回答数：689

「福祉や医療、子育て支援の充実に重点をおいたまちづくり」の割合が27%と最も高く、次いで「第一次産業や観光の振興に重点をおいたまちづくり」が25%、「分野を問わず平均的に経費をかけるべき」が19%、「豊かな自然を守り、環境に配慮したまちづくり」は16%、「安全（自然災害や事故、犯罪などが少ない）」が9%、「教育、文化、スポーツの充実に重点をおいたまちづくり」4%の割合となっております。

安全（自然災害や事故、犯罪などが少ない）に重点をおいたまちづくり
9%

教育、文化、スポーツの充実に重点をおいたまちづくり
4%



～分析～

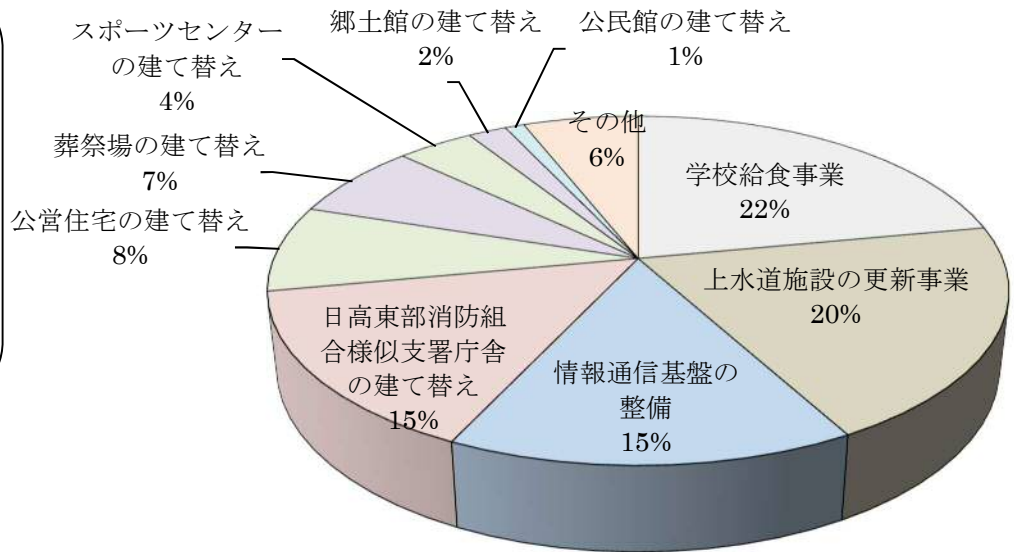
「福祉や医療、子育て支援」、「第一次産業や観光」に重点を置くべきとの意見が多く、その中でも「若者の雇用の場の確保」など雇用の促進を求める声が数多く寄せられております。

5 住みやすい町づくりに必要な施策

【実施すべき事業】

回答数：1,051（複数回答）

「学校給食事業」が22%と最も高く、次いで「上水道施設の更新事業」が20%、「情報通信基盤の整備」が15%、「日高東部消防組合様似支署庁舎の建て替え」が15%と高い割合となっております。



その他記述

- ・災害対策
- ・教育環境
- ・老人施設が足りない！
- ・子供たちに使ってほしい
- ・共同墓地を作る事
- ・小さな子供達が遊べる公園
- ・赤字財政で何もしなくていい！
- ・各家庭へ個別情報機器の設置
- ・何をやってもだめ町
- ・生涯スポーツの町でしたよね
- ・振興の拠点と若手教育の拠点
- ・通学バスの運行、共同墓地建設
- ・教育、福祉、医療、交通に関すること
- ・人口増加のために研修生などの受け入れ
- ・公営住宅の新築に一人で入れるのかどうか。
- ・何もない。金使うな。
- ・葬祭場の建て替えではなく、トイレのみ直してほしい。
- ・災害に備えての避難所、備蓄品等整備してほしい
- ・9 が叶えば、世界中からの移住又は企業誘致が可能になる
- ・必要のない建物は建てないでほしい。人口が減っているのです。
- ・潮見台の野球場のところ、大通3丁目日本電工の裏山のところなど高いところに、地震・津波の起きた時、とりあえずの避難場所トイレ付で整備してほしいです。立派なものでもなくてもよいと思います。
- ・どの様な状態なのかわからない。老朽化し支障のあるものから優先させなければならないと思います。
- ・人口減と財政難の中では建物の建て替えは必要なし。現状で補修しながら対応が必要だと思います。
- ・老人のアポイ風呂行きバス無料を1日も早く実行願います

～分析～

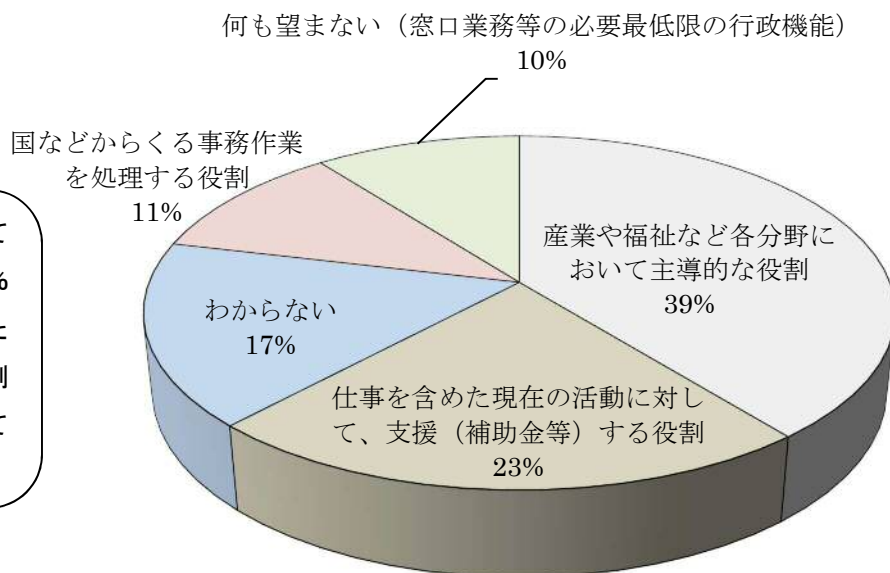
学校給食事業の実施や上水道施設の更新事業、情報通信基盤の整備といった生活に密着した分野での環境改善を求める声が高まっております。

6 行政に関すること

【行政に望む役割】

回答数：870（複数回答）

「産業や福祉など各分野において主導的な役割を望む」の割合が39%と最も高く、次いで「仕事を含めた現在の活動に対して、支援する役割を望む」が23%と高い割合となっております。



～分析～

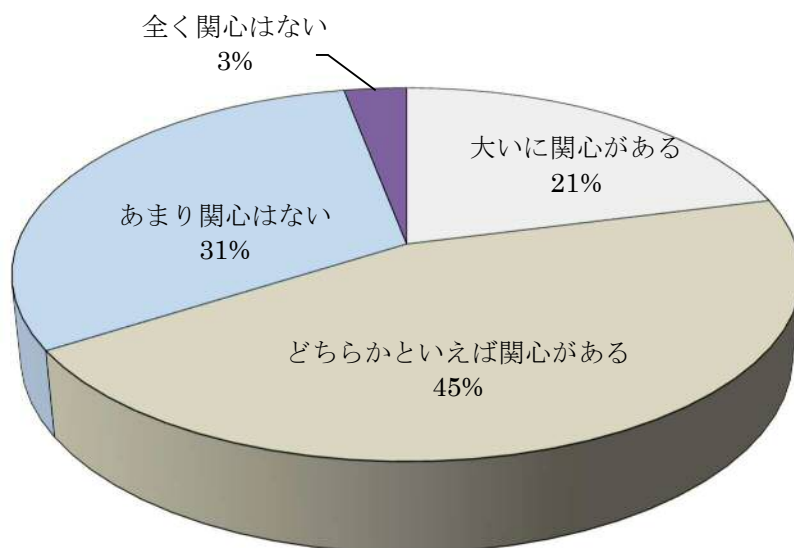
10年前と比べ、ほぼ割合に変動はありませんが、「ムダ」をなくし、健全な行財政運営に取り組むとともに、行政職員と町民がともに分かち合い、一体となってまちづくりを進める環境づくりが望まれています。

7 住民の行政参加に関すること

【まちづくりへの関心度】

回答数：722

「どちらかといえば関心がある」の割合が45%と最も高く、次いで「あまり関心はない」が30%と高い割合となっております。



～分析～

「関心がある」が概ね7割弱となっております。より関心をもっていただくために、コミュニティの充実化を図り、地域活動を活発化させる取り組みが望まれています。

【行政参加の機会について】

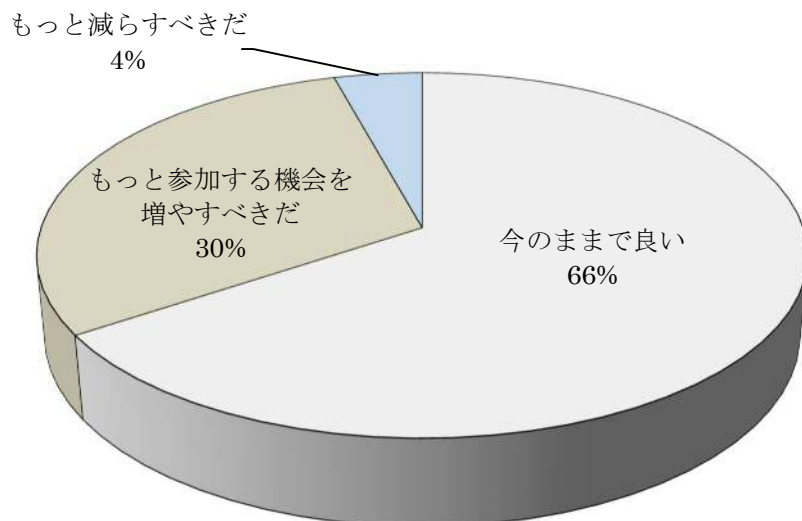
回答数：679

「今のままで良い」の割合が 66%と最も高く、次いで「もっと増やすべきだ」が 30%と高い割合となっております。

～分析～

10年前と比べ、ほぼ横ばいとなっております。

町民同士のコミュニケーションは必要不可欠であり、町民の心がひとつになるような魅力的な機会の創出が求められています。



【機会を増やした際の参加について】

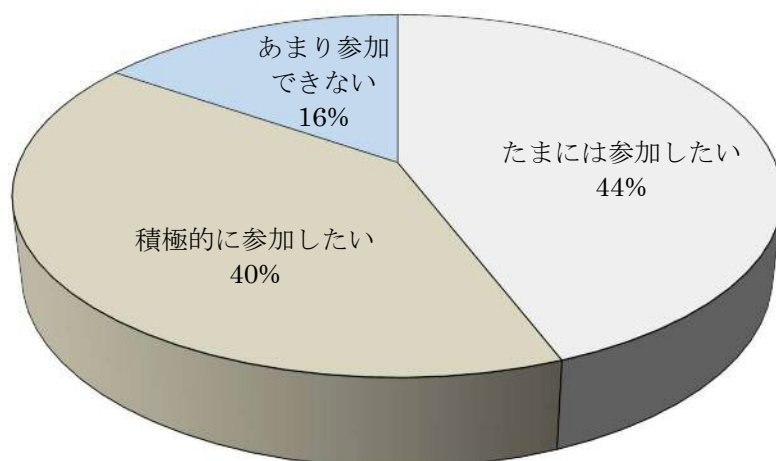
回答数：240

「たまには参加したい」が 44%と最も高く、「積極的に参加したい」の割合も 40%を占めています。

～分析～

10年前と比べ、「参加したい」の割合が微減となっております。

「また参加してみたい」、「参加してよかった」と思えるような行政主導だけではなく、町民が主導となった体制づくりも望まれています。



8 生きがい

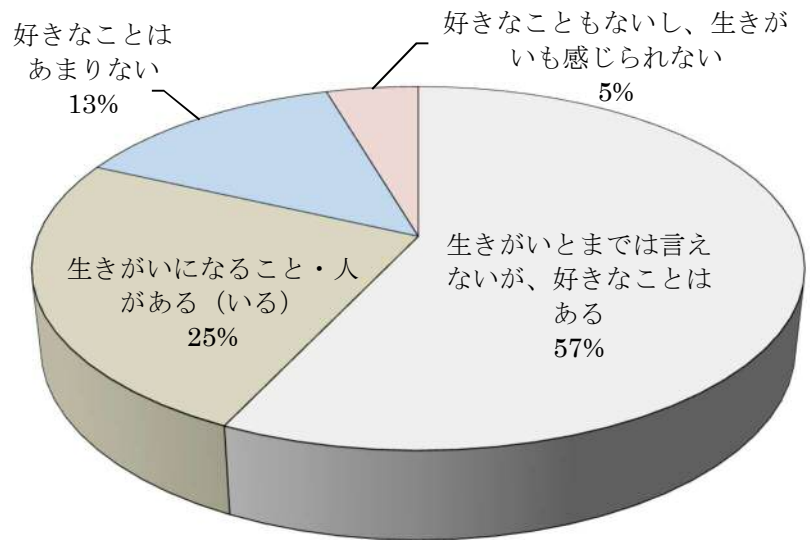
【好きなことや生きがいについて】

回答数：724

「生きがいとまでは言えないが、好きなことはある」が57%と最も高く、次いで「生きがいになること・人がある（いる）」が25%を占めています。

～分析～

8割を占めるかたが、生きがいや好きなことがあると回答していますが、地域の連帯感をより高め、町民が助け合える環境づくりを進めることで、生きがい対策にうまくつなげていくことが望まれています。

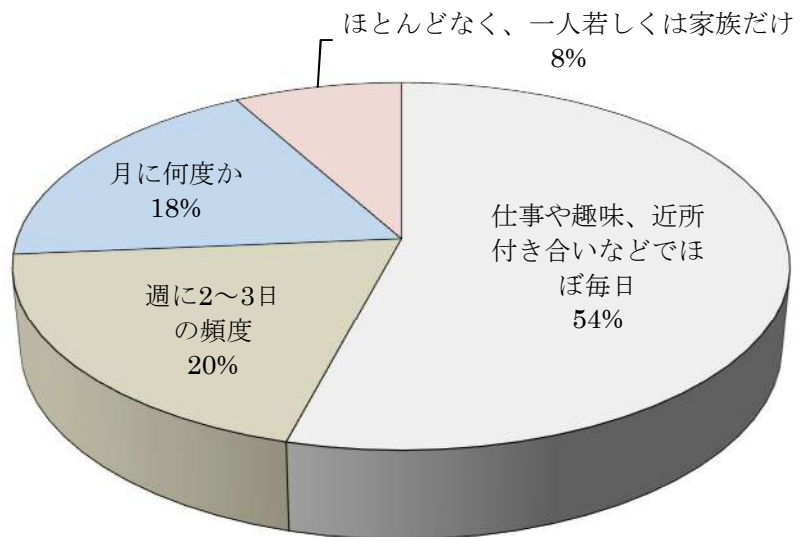


9 地域活動

【他人とのかかわりについて】

回答数：717

「仕事、趣味、近所付き合いなどでほぼ毎日かかわっている」が54%と最も高く、次いで「週に2～3日の頻度だが、かかわりがある」が20%を占めています。



～分析～

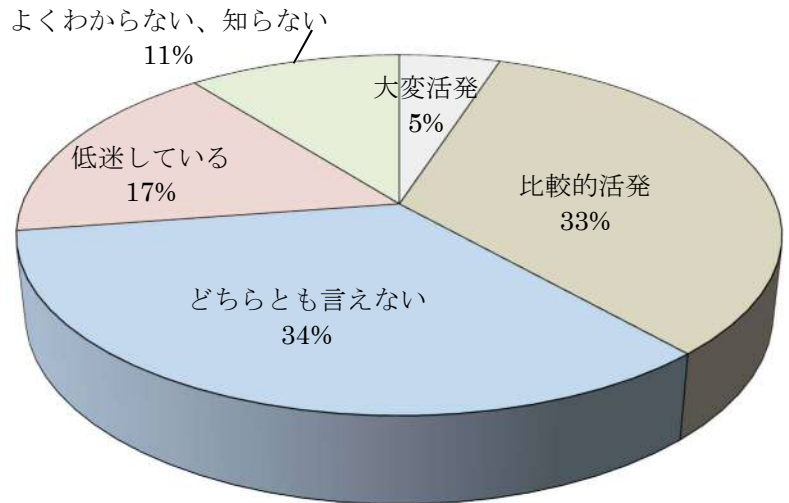
10年前と比べ、若干「かかわり、つき合いはない」と回答する割合が上昇しています。

時代の流れとともに地域の連帯感が薄れている部分はありますが、町民同士のコミュニケーションを図るうえで、地域活動が果たす役割は大きく、各自治会とも意見交換しながら、改善策を見出していくことが求められています。

【町内会や自治会の活動状況】

回答数：716

「どちらとも言えない」が34%と最も高く、次いで「比較的活発」が33%、「低迷している」が17%、「よくわからない、知らない」が11%、「大変活発」が5%となっています。



～分析～

約4割が「活発」と回答していますが、「どちらともいえない」、「低迷している」などの回答も5割を占めます。

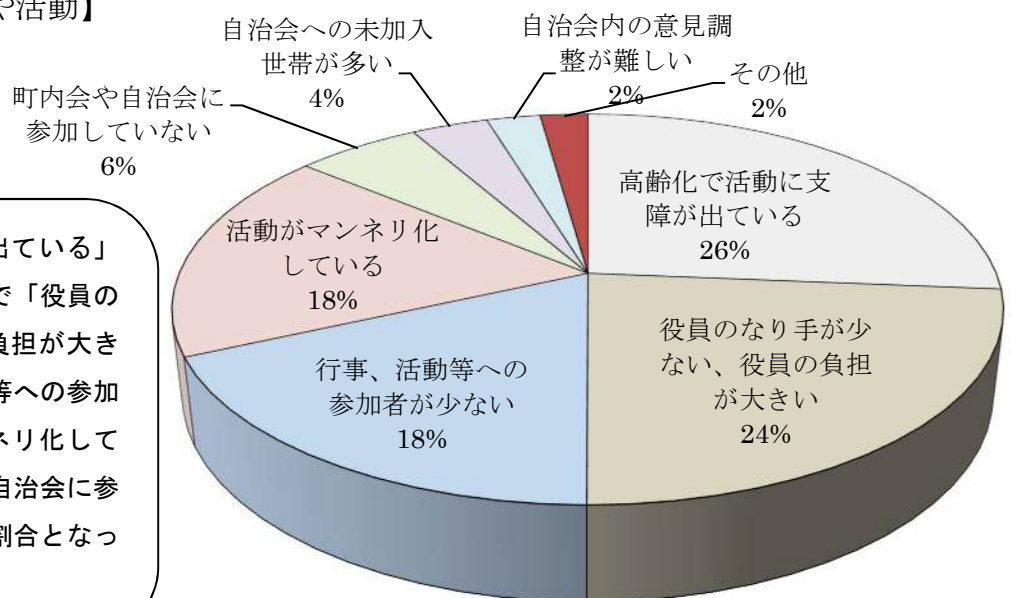
地域の連帯感の低迷と合わせて、自治会活動においてもその影響が広がりを見せている結果となっております。

【町内会や自治会の運営や活動】

回答数：1125

(複数回答)

「高齢化で活動に支障が出ている」が26%と最も高く、次いで「役員のなり手が少ない、役員の負担が大きい」が24%、「行事、活動等への参加が少ない」、「活動がマンネリ化している」が18%、「町内会や自治会に参加していない」が6%と高い割合となっています。



～分析～

自治会活動においても、高齢化や会員不足、役員のなり手不足など、さまざまな問題が生じてきており、今後のあり方も含め、改善策を見出していくことが求められています。

その他

- ・会費が高い
- ・特に感じない
- ・交流以上の意義がわからない。

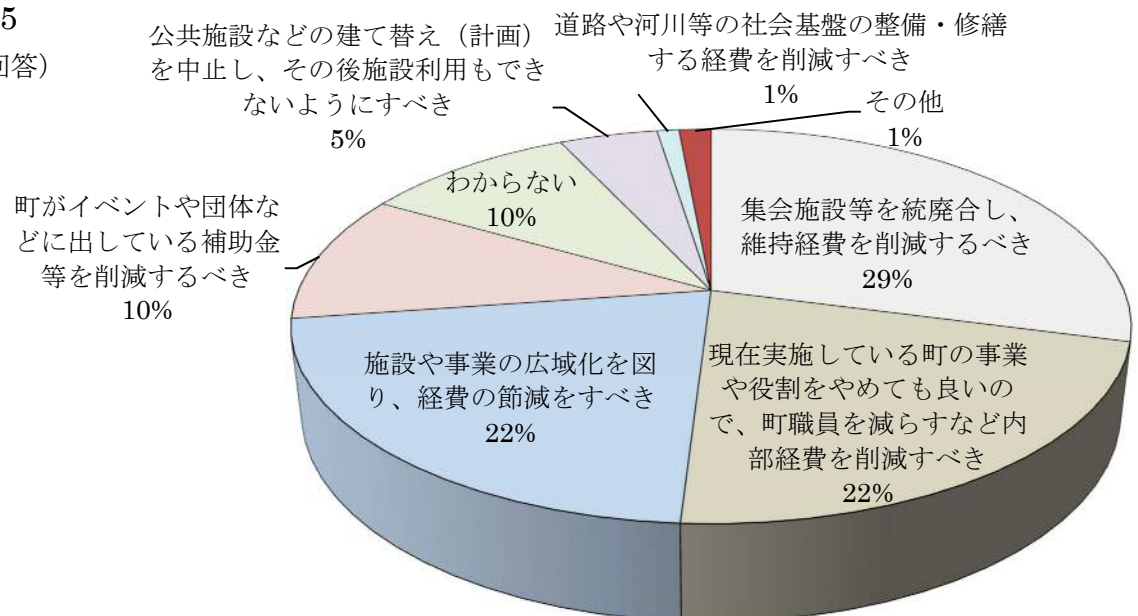
- ・アパート住人等
- ・今どき”町内会”をする意味は？
- ・いつも同じ顔ぶれの参加です。
- ・勝手に役員にならされたり、ありえない。自治会もやめたい。
- ・役員になる人が少なく、役場職員にしわ寄せがきている感じがする
- ・時代の流れとしては現状でいいと思います。
- ・一部の人達の参加しかしていない
- ・現状の中で良くやっていると思う
- ・会費は払っているが行事には参加していない

10 行財政改革に関する施策

【削減すべき事業について】

回答数：1085

(複数回答)



(その他)

- ・ジオ
- ・ジオパークをやめる
- ・職員の手当減らせ
- ・町議を減らすべき。
- ・選ぶことができない
- ・アポイ関連の支出、少なくしてほしい。
- ・民間に委託できる事業は専門にまかす
- ・細かいものから削減。例) 広報に書かれているものも回覧される
- ・行政の牽引力がない（勉強不足、井の中から脱出すべし）

「集会施設を統廃合し、維持経費を削減すべき」が29%と最も高く、次いで「現在実施している町の事業や役割をやめてもよいので、町職員を減らすなどの内部経費を削減すべき」、「施設や事業の広域化を図り、経費の節減を削減すべき」が22%、「町がイベントなどに出している補助金等を削減すべき」が10%と高い割合となっています。

～分析～

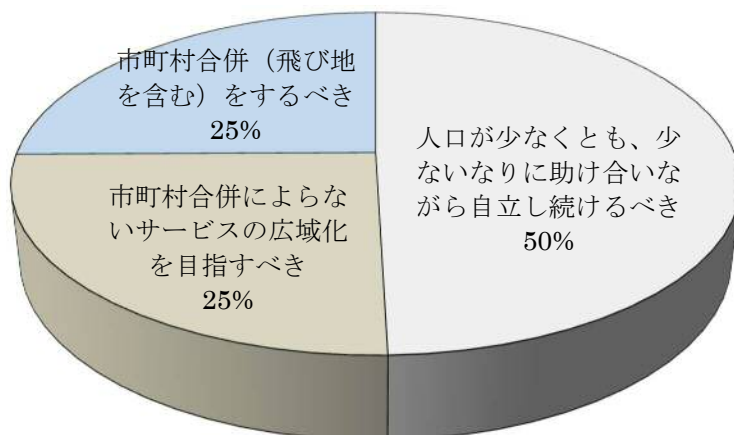
10年前と比べ、ほぼ横ばいといった状況です。特に、身の丈にあった効率的な行政運営を求める声が多く、近隣市町村との連携や広域化も含めた行政の強いリーダーシップが求められています。

1 1 市町村合併や行政広域化

【行政サービスの広域化について】

回答数：676

「人口が少なくとも、少ないなりに助け合いながら自立し続けるべき」が50%と高い割合となっています。次いで、「市町村合併によらないサービスの広域化を目指すべき」が25%、「市町村合併をするべき」が25%となっております。



～分析～

基本的に小規模ながらも自立、サービスの広域化を図り、市町村合併によらないまちのあり方を望む声が75%ほどを占めています。

近年、各事業の広域化や市町村連携が進み、今後においてもさらなる効率化に向けて、加速していく見通しとなっています。

1 2 防災に関する意識

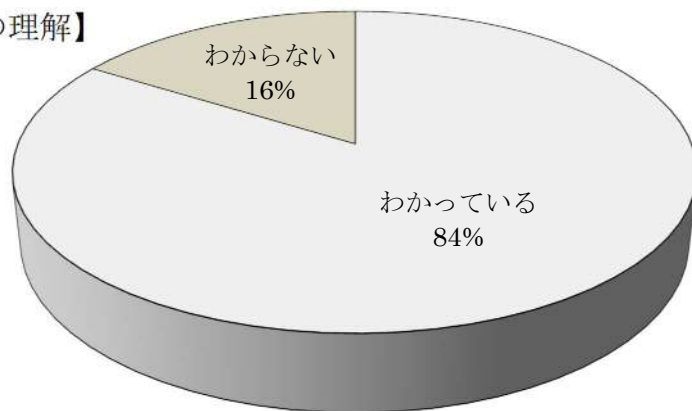
【近くの津波等一時避難場所や避難所の理解】

回答数：736

「わかっている」が84%を占める高い割合となっています。

～分析～

10年前と比べ、ほぼ横ばいといった状況です。



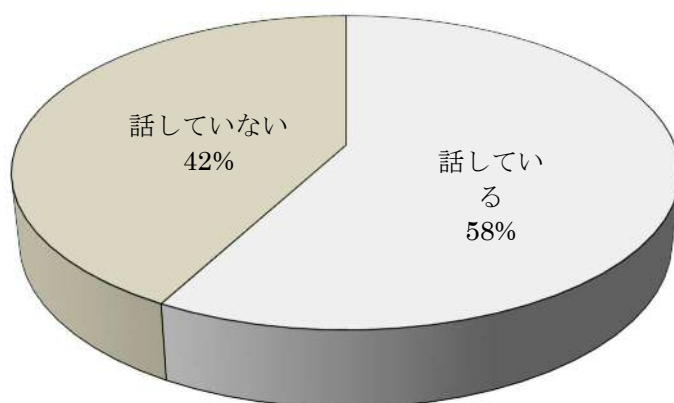
【災害が発生した際の家族間の集合場所等の話し合いについて】

回答数：719

「話している」が58%となっており、高い割合となっています。

～分析～

10年前と比べ、「話している」の割合が上昇しています。



1 3 通信整備に関すること

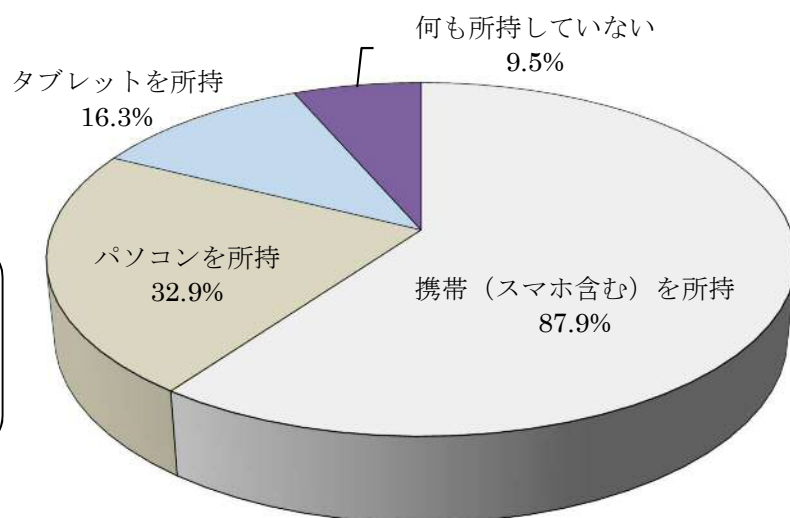
【情報端末機等の活用状況】

回答者数：734

(複数回答)

「携帯(スマホ含む)を所持」は87.9%、「パソコンを所持」は33.0%、「タブレットを所持」が16.3%となっております。

※複数所持はダブルカウント



～分析～

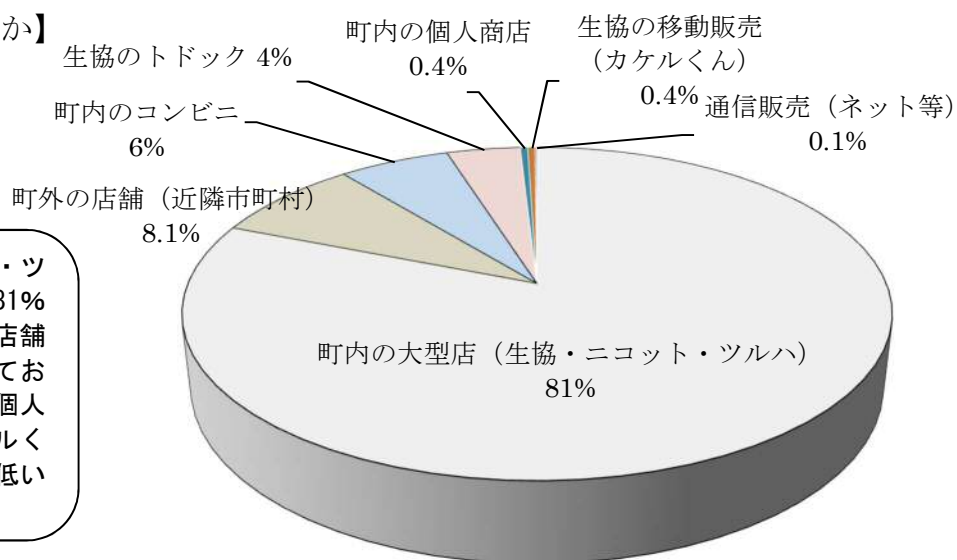
9割以上のかたが携帯(スマホ)をはじめとした何らかの情報端末機を利用していることから、SNS等を活用したさらなる情報発信、魅力的なコンテンツの開発を進め、情報共有体制の整備が求められています。

1 4 買い物に関すること

【食料品を主にどこで購入するか】

回答数：668

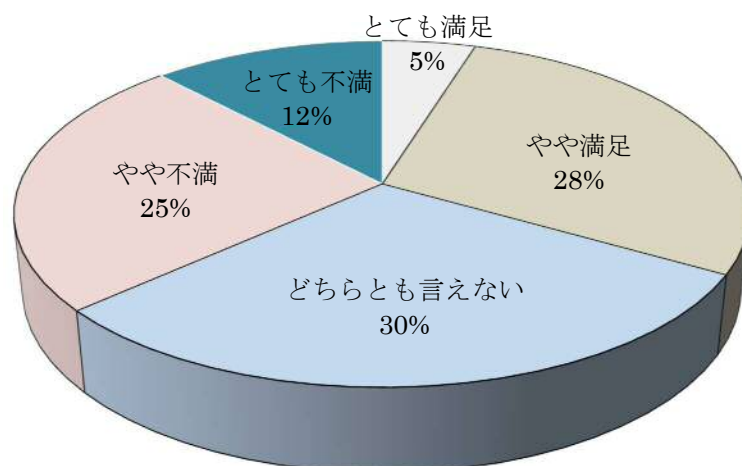
「町内の大型店(生協・ニコット・ツルハ)」の割合が最も高く、全体の81%を占めています。次いで、「町外の店舗(近隣市町村)」が8.1%となっており、「生協のトドック」や「町内の個人商店」、「生協の移動販売(カケルくん)」、「通信販売(ネット等)」は低い割合となっております。



【買い物の利便性】

回答数：704

「どちらとも言えない」の割合が30%と最も高く、次いで「やや満足」が28%、「やや不満」が25%、「とても不満」が12%となっており、「とても満足」の割合は5%と低い割合となっております。



【町内の小売店で買うもの（食料品以外）】

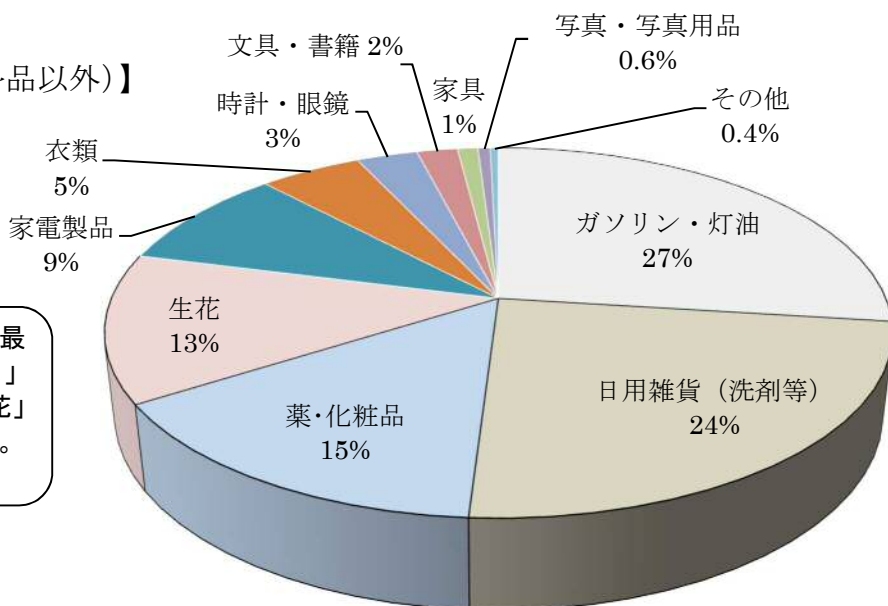
回答数：2,080

（複数回答）

「ガソリン・灯油」の割合が27%と最も高く、次いで「日用雑貨（洗剤等）」が24%、「薬・化粧品」が15%、「生花」が13%と高い割合となっております。

（その他）

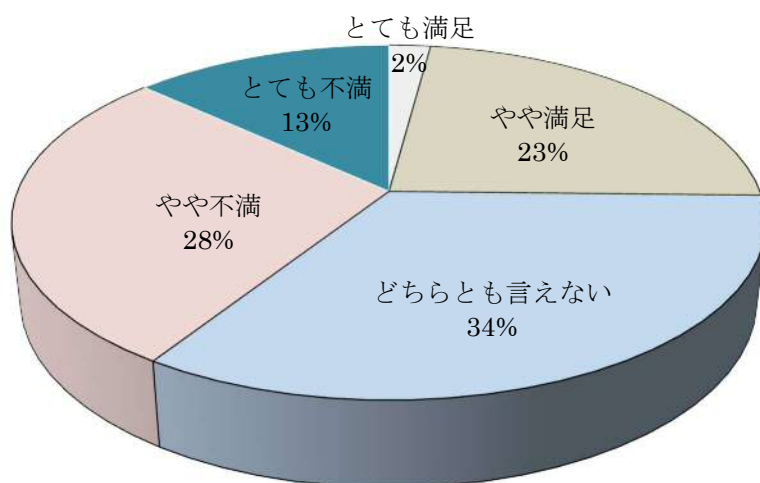
- ・車・タイヤ
- ・工作用品（木とかネジとか）
- ・ペット・フード



【買い物の利便性（食料品以外）】

回答数：714

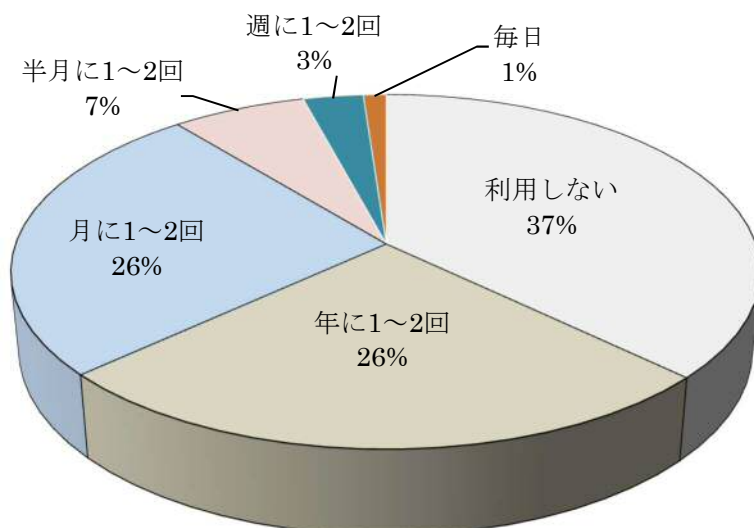
「どちらとも言えない」が34%と最も高く、次いで「やや不満」が28%、「やや満足」が23%、「とても不満」が13%となっており、「とても満足」は2%と低い割合となっております。



【インターネット・通信販売の利用について】

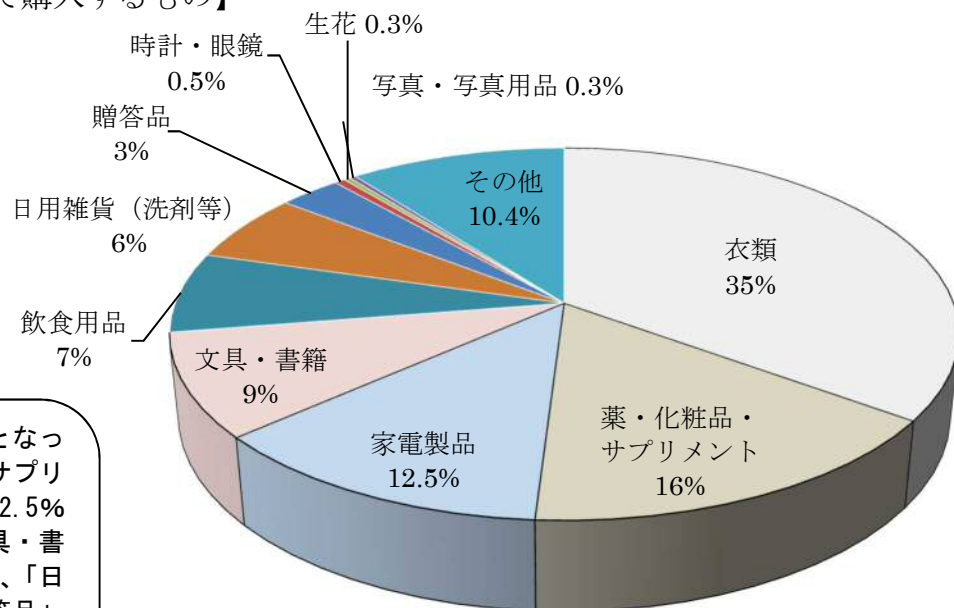
回答数：698

「利用しない」が37%と最も高く、次いで「年に1～2回」が26%、「月に1～2回」が26%、「半月に1～2回」が7%と高い割合を占めており、「週に1～2回」は3%、「毎日」が1%と低い割合となっております。



【インターネット・通信販売で購入するもの】

回答数：374



「衣類」が35%と最も高い割合となっており、次いで「薬・化粧品・サプリメント」が16%、「家電製品」が12.5%と高い割合となっており、「文具・書籍」が9%、「飲食用品」が7%、「日用雑貨（洗剤等）」が6%、「贈答品」が3%、「時計・眼鏡」が0.5%、「写真・写真用品」「生花」が0.2%と低い割合となっております。

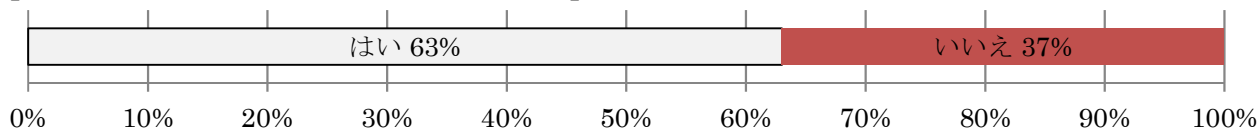
～分析～

【買い物に関すること】

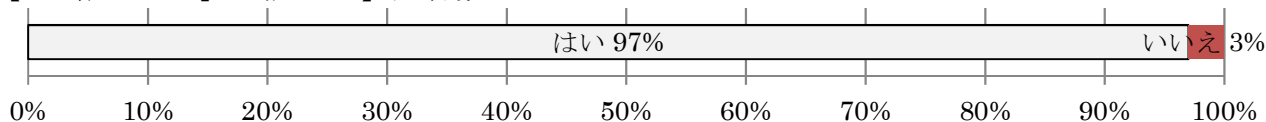
- ・「食料品」については、約 9 割が町内や近隣市町村の大型店で買い物する状況となっており、商品に応じて購入先を使い分けているかたが多いように見受けられます。
- ・買い物の利便性については、「満足」の回答は約 3 割程度となっており、生活していくうえで必要な町内店舗の充実が求められています。
- ・「食料品以外」については、町内で店頭にないものや品数など物足りなさを感じると回答されているかたも多く、満足度についても約 25%にとどまっており、地元消費という観点からも、商店街の活性化、店舗の充実が求められています。
- ・「インターネット・通信販売の利用」については、6 割以上のかたがそれぞれの目的や用途に応じて活用されており、生活に欠かせないインフラ的な立ち位置を示しているといえます。
- ・インターネット・通信販売上では、さまざまなカテゴリーの商品が販売されるようになっており、商品やサービスを注文するに至らなくても、価格や仕様を比較したり、商品に関する詳細な情報を集めるといったユーザーも多く、実際の店舗での買い物にも影響を与えていると思われます。

15 日頃の行動等について

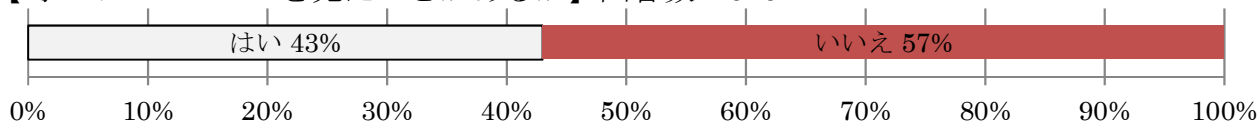
【まちの総合計画を読んだことがあるか】 回答数：650



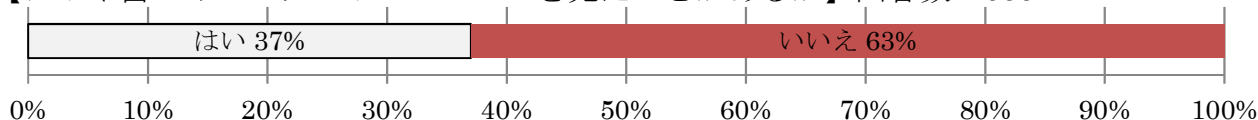
【「広報さまに」を読むか】 回答数：675



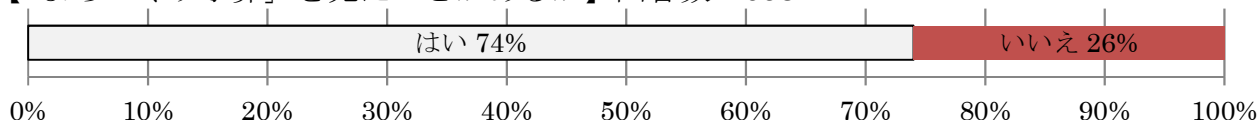
【町のホームページを見たことがあるか】 回答数：649



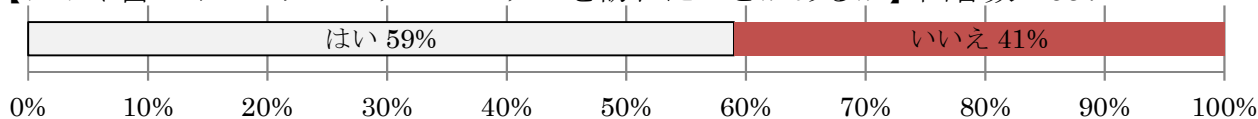
【アポイ岳ジオパークのホームページを見たことがあるか】 回答数：659



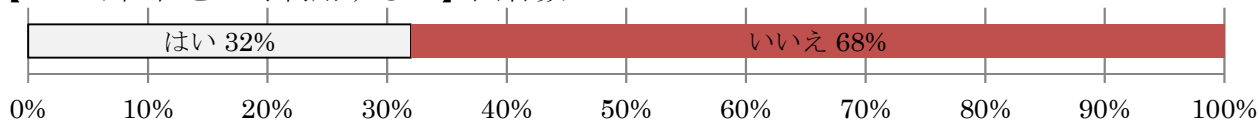
【「まちづくり予算」を見たことがあるか】 回答数：653



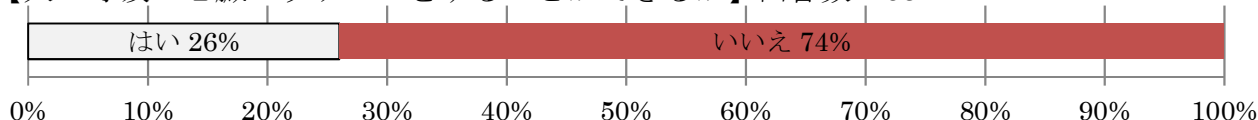
【アポイ岳ジオパークビジターセンターを訪れたことがあるか】 回答数：657



【アポイ山荘をよく利用するか】 回答数：662



【人工呼吸・心臓マッサージをすることができるか】 回答数：654



～分析～

～日頃の行動について～

・【まちの総合計画を読むか】

総合計画は、将来、様似町をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどんなことをしていくのかをまとめた「まちづくりを進めていくための道しるべ」ですので、一人でも多くのかたに目を通していただくための工夫も求められています。

・【広報さまにを読むか】

97%のかたが読むと回答されていますが、情報入手の手段が多様化するなかで、広報紙を単なる情報伝達手段としてだけでなく、地域コミュニティの結びつきを深めるツールとしての活用法も求められています。

・【町のホームページを読むか】

閲覧者の割合が半数を割っている状況で、「自治体のホームページは見にくい」とのご意見もあり、ホームページ内のコンテンツの整理、また、魅力的なコンテンツの開発が求められています。

・【アポイ岳ジオパークのホームページを読むか】

閲覧者の割合が4割弱にとどまっている状況で、ジオパーク推進事業と合わせて、引き続き地域資源を活用した地域の活性化について、宣伝・発信力を高め、地元の魅力をアピールしていく工夫が求められています。

・【まちづくり予算を見たことがあるか】

まちづくり予算は、「町がどのような事業にどれだけのお金を使っているか」ということをわかりやすくお知らせし、町の置かれている現況を理解していただき、町民の皆さん自らが積極的にまちづくりに参画していただくための資料として、平成17年度から各世帯に配布しています。

・【ビジターセンターを訪れたことがあるか】

アポイ岳ジオパークビジターセンターは、様似町の地形・地質・自然・歴史・文化・産業に関する展示や映像、解説を通して、アポイ岳ジオパークをより楽しむために必要な情報の提供を行う施設で、より楽しく、より安全にアポイ岳登山をしていただくために、高山植物やヒグマなどに関するリアルタイム情報の提供を行っており、平成25年度に開館しました。

・【アポイ山荘をよく利用するか】

多くの町民の皆さんにご愛顧いただいている交流促進施設アポイ山荘については、平成9年のオープン以来、第3セクターの(株)様似観光開発公社が運営してきましたが、令和2年4月より、アポイ山荘の指定管理者として、湯らん銭(株)が施設の管理運営をしております。

・【人工呼吸・心臓マッサージをすることができるか】

できると回答されたかたは約25%ほどにとどまっている状況です。消防様似支署では、町民の皆さんを対象に、「もしも」の時のために必要な応急手当の講習を開催しており、多くのかたが気軽に参加していただけるよう呼び掛けております。

“こんなまちになればいいな” についての意見・要望～239 件 全内訳

○行財政～8 件

- ・事業・イベントの見直し
- ・財政の健全化 (2)
- ・効率的な行政運営 (5)

○市町村合併関連～1 件

- ・市町村合併の推進

○広報・広聴～1 件

- ・地域活動の周知

○地域コミュニティ～7 件

- ・町内会の見直し（役員の成り手不足）
- ・地域内交流・連携の活性化 (6)

○まちづくり関連～42 件

- ・田舎ながらも自立して、特色のあるまち (4)
- ・面白い活動がいろいろあるまち
- ・活気のあるまち (3)
- ・若い女性が住んでみたいと思うまち
- ・子どもからお年寄りまでみんなが安心して暮らせるまち (7)
- ・人口 3 千人でも町民が幸せに暮らせるまち
- ・「食」を提供できるまち
- ・住民の願いが叶うまち (2)
- ・住民一人ひとりに手厚いまち
- ・若年層を支えるまち
- ・人を集めることができるまち (2)
- ・若者が定着するまち (6)
- ・自然環境を生かしたまち (3)
- ・町民が連携の取れたまち
- ・子どもが元気なまち
- ・人に優しいまち
- ・景観の良いまち
- ・公共機関・施設が充実したまち
- ・町民が誇れるまち
- ・便利なまち
- ・経済に余裕があるまち
- ・子どもからお年寄りまで幅広い年代の人が住んでいるまち

○人口減少対策～8 件

- ・若者の流出防止 (3)
- ・婚活活動の推進
- ・人口増となる施策 (4)

○移住～3 件

- ・若い世代の呼び込み
- ・移住したくなるまちづくり (2)

○公共交通の整備～7 件

- ・巡回バスの運行
- ・交通の利便性向上 (4)
- ・交通費の援助 (2)

○公園の整備～1 件

- ・公園の新設

○生活環境の整備～12 件

- ・住環境の整備 (2)
- ・共同墓地の設置
- ・住みやすいまち (3)
- ・自然豊かなまち (3)
- ・若者が生活しやすいまち (2)
- ・きれいなまち

○防災対策～2 件

- ・自然災害に強いまち
- ・治安が良く、災害にも強いまち

○保健・医療～4 件

- ・福祉面の充実
- ・医療機関の充実 (3)

○高齢者福祉～12 件

- ・高齢者が安心して暮らせるまち (3)
- ・高齢化社会に対する福祉の充実 (9)

○児童福祉～17 件

- ・子育て世代に優しいまち (11)
- ・出産祝い金の支給
- ・子どもがたくさんいるまち (4)
- ・子どもがきちんと守られているまち

○学校教育～10 件

- ・教員の質の向上
- ・中高一貫校の設置
- ・教育環境の充実 (3)
- ・学校給食事業の実施 (5)

○生涯学習～2 件

- ・体育協会への補助充実
- ・スポーツ活用による活気あるまちづくり

○文化活動～1 件

- ・多種多様な文化があふれるまち

○農林水産業～3 件

- ・一次産業の維持向上 (3)

○商工業～13 件

- ・ショッピングモールの誘致
- ・生活に必要不可欠な店舗の充実 (3)
- ・買い物環境の利便性向上 (4)
- ・商店街の活性化 (3)
- ・チェーン店の増加
- ・町内での消費喚起

○観光・イベント～11 件

- ・個人が楽しめる、生活に密着した観光振興策
- ・自然を生かした新たな観光資源の開発 (4)
- ・ジオパークの有効活用 (2)
- ・観光客で賑わうまち (4)

○雇用の促進～39 件

- ・雇用の場の増加 (15)
- ・若者の働く場の確保 (20)
- ・高齢者世代の働く場の確保 (2)
- ・働きやすい環境のまち (2)

○その他～35 件

- ・わからない (8)
- ・何をやっても無理 (4)
- ・何とも言えない (3)
- ・現状維持を (3)
- ・まちのめざす方向性が不透明
- ・とにかく明るいまちを (3)
- ・行政で考えること (8)
- ・励まし合うまち
- ・平和で静かなまち (4)

“こんなまち” にするために、やるべきこと～211 件 全内訳

○行財政～26 件

- ・行政の介入 (2)
- ・行政が考えること
- ・行政に任せる
- ・行政のリーダーシップ (2)
- ・町長及び町職員の努力
- ・行政のやる気 (2)
- ・町民ファーストの姿勢 (2)

- ・近隣町との連携
- ・広域化の協議
- ・職員の削減（２）
- ・職員の大幅削減
- ・職員・議員定数の見直し
- ・議員の削減（２）
- ・議員のリーダーシップ
- ・ジオパークの縮小化
- ・ジオパークの廃止
- ・財政の健全化
- ・地域を集約化し、税金を効率的に使う
- ・無駄を省く（２）

○広報・広聴～２件

- ・SNS のきめ細やかな発信、HP の充実
- ・SNS 等を活用した更なる情報発信、魅力的なコンテンツの開発

○地域コミュニティ～６件

- ・町民同士のコミュニケーション
- ・コミュニティの充実
- ・町内会を動員し、街中をきれいに
- ・地域活動等の活発化
- ・普段からのつき合いを大切に。住民の心がひとつになるような町としての政策を。
- ・話しあい、実行する場をつくる。

○情報通信基盤の整備～１件

- ・ネット環境（Wi-Fi）の整備

○まちづくり関連～７件

- ・若い方に住んでもらう
- ・若い世代の輪が必要
- ・住みよいまちづくりを考え、若者が定住できるまちづくり。子育て等の予算を増やすことも必要
- ・住みよさ、交通アクセス、医療、福祉アクセス、買い物へのアクセス。緑豊かなスモールシティを目指したい
- ・小さな町でも「ここに来たい」と思うようになってほしい
- ・様似町の最大の魅力である自然環境の維持
- ・町と町民の連携、個人の収益アップ

○人口減少対策～１２件

- ・町が婚活活動を主導してやるべき
- ・人口の減少に合わせたまちづくりを（２）
- ・若者を残すようにする（２）
- ・産業を育て人口減を食い止める
- ・人口増と産業振興
- ・人口増（５）

○移住～2 件

- ・移住者の増加を
- ・移住者支援制度をつくり、移住者を募る

○公共交通の整備～5 件

- ・交通の便
- ・マイクロバスや大きいワゴン車を購入し、巡回バスの運行
- ・交通手段のない地域へのスクールバスの利活用
- ・公共交通機関の確保、道の駅などの整備
- ・代替えバスの時間短縮

○公園の整備～2 件

- ・公園の充実
- ・公園や室内系の乳幼児が遊べる施設

○生活環境～5 件

- ・老朽が進んでいる住居の整備
- ・廃墟の解体、電柱の地中化、道路・排水溝の整備、美化運動、環境整備の助成
- ・ごみゼロ運動
- ・低家賃住宅の整備
- ・空き家対策

○保健・医療～4 件

- ・子どもの医療費補助を廃止
- ・病院に対する補助を
- ・小児科のある病院を
- ・医療の充実

○高齢者福祉～6 件

- ・健康で保険に頼らない生活を
- ・高齢者の集い等を増やす
- ・保健師の訪問機会の増
- ・高齢者施設に家族が宿泊できる施設の設置を
- ・高齢者の移動手段の確保
- ・アポイ山荘入浴援助費の一部を交通費の負担に充ててほしい

○児童福祉～8 件

- ・幼児向けの補助金、公園の整備、子育てサロンの充実
- ・子ども医療費無料、給食をはじめ無償化
- ・子育て世代に対する補助制度の充実
- ・子育てに対する町独自の支援
- ・子育てしやすい環境づくり
- ・子が誕生したら、お祝い金 100 万円
- ・病児保育
- ・子どもの遊べる場所を増やす

○学校教育～11 件

- ・教育と集まりと話しあい
- ・学力向上対策
- ・特別支援教育の充実、障がい者について広く理解を促すような取り組み
- ・学校と連携したイベントの開催
- ・幼少時から子ども教育の充実。自分の考えをしっかりと持ち、自立できるように。
- ・学校給食の実施
- ・学校給食の実施（親の負担回避）
- ・学校給食の実施、給食の無料化
- ・学校給食の実施（地元農畜産物中心の安全な給食）
- ・学校給食の充実
- ・完全給食

○生涯学習～3 件

- ・社会教育の充実
- ・社会教育の場への住民参加
- ・フィットネスクラブをつくる

○農林水産業～15 件

- ・コンブ漁貝類の養殖の研究
- ・貝（つぶやホッキ、白貝）の養殖事業を行い、安定供給を
- ・えりもの魚直売所みたいなどころ必要
- ・一次産業に力を入れるべき
- ・産業を盛り上げる。今の農業や漁業を継承しやすくする
- ・基幹産業（農・漁）の育成
- ・地場産業の振興（2）
- ・ジオパーク減退。一次産業への補助制度拡充
- ・一次、二次産業の活性化
- ・水産、農業、一次産業が元気になるように企業行政が一体になってまちづくりを
- ・産業の掘り起こし
- ・農・林・漁業などちょっと変わった発想で事業起こしを
- ・自然を生かした学び、水産や農業など様似町でしか学べない何かを考える
- ・農業、漁業、仕事をして収入は経費にしかない。若いひとが収入に心配なく子育てができるのが理想

○商工業～9 件

- ・子ども服が買えるお店があればいい
- ・行政の支援による商店街の見直し
- ・商業施設の充実
- ・商工増
- ・新規出店時、開業資金の補助を
- ・買い物時に募金制の導入を
- ・町内施設・店舗の積極的な町民利用

- ・ロッククライミングやボールプール、アスレチックなど雨の日でも体を動かして遊べる室内の場所
- ・道の駅のような施設をつくり、他地区のかたの往来、地産地消を高める

○観光・イベント～14 件

- ・イベントの開催（2）
- ・町の行事にどんどん若者を参加させ、一緒に盛り上げる。マンネリ化からの脱出
- ・ジオパークの推進は、鉄路の廃止、交通のことを考えると、今後不安
- ・ジオパークも良いが、一次産業の活性化と様似にしかないもの、特色を出す活動が必要
- ・人を呼ぶ
- ・観光に力を入れる？
- ・観光に対する考え方の転換（アポイ頼みは限界）
- ・様似町の名所をアピール
- ・カンラン岩の活用
- ・アポイ山荘の利用の充実化
- ・アポイ山荘の接客対応の改善
- ・アポイ山荘施設内の改善
- ・アポイ山荘のレストランの改良

○雇用の促進～30 件

- ・企業を誘致し働く場所を増やす（9）
- ・働く場の確保（9）
- ・若い人が働ける場所の確保（3）
- ・雇用条件を良くする
- ・町内企業の努力
- ・企業を呼び込む。そのための補助、土地の貸し出し、空き地の利用（3）
- ・スーパーやコンビニをもっと増やす
- ・高齢者世代の働く場の確保
- ・地域にあった職場環境の整備
- ・町内で消費し働く場所を守る

○その他～41 件

- ・わからない（14）
- ・町民が動いても何も変わらない
- ・やるべきことは一つではなく、たくさん有り
- ・国の問題（3）
- ・別になし
- ・なかなか難しい問題
- ・一人ひとりが協力しようとする気持ち（2）
- ・励まし合うまち
- ・相互理解
- ・地代の値下げ
- ・あいさつ、看板の英語表記

- ・所得の安定
- ・自らの町への信頼
- ・経済連携が必要
- ・政治の安定
- ・最低生活保障
- ・町、自治会が音頭を取る
- ・新たな人、モノを受け入れチャレンジする柔軟性が必要
- ・各個人への呼びかけ必要
- ・平和な暮らし
- ・福祉事業のさらなる充実（2）
- ・指導員の養成、普及員の配置
- ・地区民生委員活動の活性化（若手の登用）
- ・コミュニティ全体の寛大さが大切

“まちづくりのアイデア・意見”等について～105件 全内訳

○行財政～12件

- ・アイデアを出しても予算がないとのことで片づけられる
- ・議員の報酬を減らすべき、ジオパークも辞めるべき
- ・町民の声を正直に代弁できる議員であってほしい
- ・行政が何をやっているか見えてこない
- ・今の時期は、現実を行政が守って将来に向けてほしい
- ・町民にアイデアを求める前に町のまちづくり担当課で勉強したうえで、求めてほしい
- ・減らすものは減らして、目的を持ったものに力をつける
- ・余計な行政サービスはやめた方がよい。すべてのサービスをゼロから見直しをかけて、本当に必要なものに絞る
- ・住民サイドの考えに立った行政が基本
- ・役場内で町民が歩いていても挨拶もしない。それでは町は良くなるしない
- ・町内で若い集団は役場職員よりいない。職員の教育と育成、若い知恵を十分発揮させることを考えるべき
- ・町民が喜ぶサービス、時代にあった変化を求める

○地域コミュニティ～2件

- ・民家の空き家を活用し、町民同士のコミュニケーション空間の場を
- ・さまざまな地域のかたがたが集まる機会を

○まちづくり関連～8件

- ・子どもたちがこの町に残りたいと思う町にしたい
- ・静かに暮らしたい
- ・町内はきたない。きれいな町に
- ・町民生活優先のまちづくり
- ・まずは「様似町」という名前を広める。知名度が低い（2）

- ・自然は大切に。無理せずコツコツと
- ・なるべく町の中心部に人やお店を集めてコンパクトシティ化をする

○人口減少対策～5件

- ・婚活を積極的に取り組むべき
- ・若者の出会いが少ないせいか、活性化する要素が足りない
- ・移定住にこだわらず、今以上に交流人口、季節人口を増やす
- ・人口減少はどこの町でも同じ悩み。ここに住んでいる人たちが住みよい町と思えるまちづくりを
- ・人口減少はしかたない。少ないなりにまちを維持するしかない

○移住～3件

- ・移住より出ていくかたがますます多くなると思う。イチゴ農家も家族連れで来てくれる人を増やすべき
- ・空き家を町で管理し、町外からの定住を促進させる
- ・避暑として別荘地やスポーツ合宿、テレワークのできる場所として移住・定住とともに整備していく

○公共交通の整備～3件

- ・駅からアポイ山荘までのシャトルバスの運行
- ・JRがダメなので、苫小牧・千歳空港等の交通面について利便性を早く考えてほしい。高齢者が車の運転ができなくなるので、早急に考えてほしい
- ・JR日高線の再開を望む。バス転換をするには距離が長すぎ。身体の負担が大きい。観光経済にも影響が多大。国・道・各町も負担し、赤字を減らす方法をすべての人が共有したい

○公共施設の整備・利活用～3件

- ・共同埋葬施設の検討を
- ・子どもたちが遊べる施設をつくってほしい。大人も息抜きできるような場所があれば、ずっと住みたい町だと思う。
- ・旧ソビラ荘を何か有効活用できないか。アトリエ的な自分の趣味のものを売ったり、そば打ちしたり

○土地利用・遊休地対策～1件

- ・三角地の有効利用を（ジオパークを宣伝する道の駅化、便所・食堂・直売所など）

○公園の整備～4件

- ・公園はつくらないのか
- ・休日に子どもたちの遊べる場所がない。アポイにもう少し遊具があったほうが良い
- ・アポイ以外に子どもが遊べる、集まれる場所がほしい。図書館、スポーツセンターが月曜に休みになると困る
- ・ジオパークにばかりお金をつかいすぎ。もっと別の方向にも目を向けて様似に人が来るように考えるべき。アポイ公園のシカの糞を考えてほしい。公園で遊びたくなくなる

○生活環境～1件

- ・空き家など整理して見栄えを良くするべき

○上下水道～1件

- ・下水道整備を至急進めるべき

○防災対策～1 件

- ・大津波が予想されているが、一時避難場所しかないと思われる。錦、緑町地区に至っては避難施設がない。高台に最低でも駐車スペースを確保し、周知すべき

○保健・医療～2 件

- ・医師、保健師、救急救命士など専門職等の学費を様似町に戻ってくる条件で助成してはどうか
- ・ジオパークにメインを置かずに、町内の福祉や医療、サービスにもっと重点を置くべき

○高齢者福祉～3 件

- ・老人クラブの育成
- ・高齢化に則したまちづくり
- ・アポイ入浴老人貸切バスの無料化

○児童福祉～4 件

- ・子どもがいても働きやすい環境づくり（子育てサポート等）
- ・子育て世代が増えるよう、働きやすい環境（時短勤務や子どもが病気になった時に休みやすい職場など）が増えると暮らしやすいまちになる
- ・子どもの住みよいまち
- ・子どもが遊べる施設を

○学校教育～8 件

- ・スケートリンクづくり
- ・学校給食の実施（親だけでなく教員も望んでいる）
- ・学校給食の実施（若い世代の定住にもつながる）（2）
- ・学校給食の実施（子育て世代への PR に必要不可欠）
- ・学校給食の実施（地元農畜産物中心の安全な給食）
- ・学校給食の実現（2）

○文化活動～1 件

- ・カンカン講座など出たいものもあるが、日中なので参加できない。夜の部もあれば、興味あるものは参加したい

○農林水産業～3 件

- ・まちが小さくなくても最小限度の安心として、様似町に住める人が助け合っていけるよう農業、漁業ともに移住者を増やし安定した供給を
- ・一次産業の発展なくして「まち」は成り立たない
- ・産業を育てることが重要。一次産業は特に重要で、他に製造業、または企業を誘致するのも良い

○商工業～7 件

- ・様似町の特産品を買えるところがあればいい（これといったお土産もない）
- ・お店や施設の店員さんなどの愛想の悪さは、田舎のおごりだと思う。他の町から来た人はその姿にはとても敏感。そこは、町ぐるみで徹底して指導すべき
- ・町の経営方針を明確化。販売店の誘致
- ・町民が手土産として使える商品の開発（町民に応募してもらうのも良い）
- ・町内での買い物。商店街を充実して地元を活性化
- ・書店をつくってほしい
- ・「道の駅江差」のように小さな道の駅があれば、トイレもあってついでに寄れて、お土産も買って

もらえる

○観光・イベント～14 件

- ・アポイ、親子岩、観音山等結び付けて観光客を呼ぶ。パワースポット化し PR する
- ・様似は素晴らしい山と海の町。山ではハイキング的な登山と、海では潮干狩や磯遊びができるようにして集客アップを図る
- ・もう少し毎年のように観光客を呼び込めるようなまちづくりが必要
- ・アポイの火まつりは 1 日開催で十分。名前にちなんだ催し（アイヌの伝説など）も取り入れるべき
- ・若者が魅力を感じる様似町となれるようにイベント等考えたらどうか
- ・ジオパークを生かし、他の市町村への研修事業の誘致や小中高大学等の宿泊研修地としての誘致や宣伝活動をし、それに伴う受け入れ整備をしていき、町を日本だけでなく国外にも発信し展開すべき
- ・ジオパークだけでなくもっと様似のよいところを見つけて、色々なところに発信すべき
- ・イベントの活性化。町に人を呼び込む
- ・海水浴場の施設を利用して、海の家をつくる（2）
- ・夏は涼しく生活しやすい。釣りの情報をたくさん流す。冬は雪が少ない。薪ストーブなどで楽しむ。10 日間くらい過ごせる中古の家を安く提供する
- ・現在アニメの舞台となった場所を巡る観光が流行している。働きかけができないか
- ・アポイ山荘は、観光、町の催しものの拠点として事業増加や送迎バスの利用拡大を
- ・アポイ山荘のレストランの改善

○雇用の促進～3 件

- ・企業を誘致（2）
- ・働く場の確保

○その他～16 件

- ・この町に期待はない
- ・特にない（2）
- ・みなさんに迷惑をかけずに、日々過ごしたい
- ・一人ひとりが協力しようとする気持ち（2）
- ・相互理解
- ・地代の値下げ
- ・あいさつ、看板の英語表記
- ・所得の安定
- ・町への信頼
- ・経済連携が必要
- ・政治の安定
- ・道内の人口 3 千人以下の町村の視察
- ・バス停の前にベンチを設置してほしい
- ・様似駅を町営または民営化し、活用

“行政への意見、要望”について～93件 全内訳

○行財政～42件

- ・ジオパークに経費がかかりすぎで町民が望む見返りが無い。議員も少なくすべき
- ・ジオパークのお金を減らし、町民に直接役立つお金に
- ・ジオパークにお金と人を使いすぎ。もっと大事なことがある。役場に行って用事が誰でもできるよう指導してほしい。「担当者がいないとわからない」では困る
- ・町民に関心がないジオパーク事業は中止すべき。アポイ山荘はサービス悪い
- ・ジオ以外のことは、すべて決めるのが遅い
- ・ジオパークに入れ込みすぎでは？ 町民は冷ややかに見ている。今様に住んでいる人たちを第一に考えた方がよい。誰のための町政なのか？ 観光客のためではない。アポイ岳周辺のネット環境を優先する前に、町民のためにお金を使うべき
- ・ジオパーク取りやめ。トップ交代
- ・ジオパークへの経費を様似町への活気づけるような事業を見出すべき
- ・町民の生活を第一に考えた町政にすべきで、今は行政のバランスが町民の思いからずれている。やらなくていいことに力を入れ、必要なところにかけていない
- ・出費を減らして地道なまちづくり
- ・無駄な経費の洗い出しを。職員のモチベーションはどこにあるのか知りたい
- ・職員の方も若くて地方からきているかたも多く、話しにくい
- ・町職員もサラリーマン化していて、本当に町の事を考えているのか疑問に思う
- ・山（アポイ岳）と海（海浜公園）がこんなに近くにある自然テーマパークを生かせられないのは、予算がないから？ もっと経費の使い道を考えるべき。町外から人が来る観光に。まずは人件費削減。これができないのは致命的。
- ・行政運営の充実を
- ・熱意が不足している
- ・行政に関して、職員は勉強が足りないと思う
- ・ボーナスや給料自体が安いところで働いているのがほとんどなので、真面目に仕事してほしい。威張り、ふんぞり返ってるだけでお金がもらえてるのには納得できない
- ・役場職員（全部ではない）の上から目線の説明がどうにかならないか。周りもきちんと見て公正に対応すべき
- ・視聴覚ホール等での行事で町職員の参加者が少ないのは、理解できない
- ・町民目線で仕事をしてほしい（町長へ向いている）。そもそも3,000人になりますよって、努力する意志が感じられない。本気でやる気があるのか？
- ・人口減少に歯止めがかからない中で、様似町としては一生懸命活動してると思う。県外出身だが、以前居住していた地域と比較すると行政が頑張っていると思う
- ・大変かと思いますが、様似町の未来のために頑張ってほしい
- ・いつも町のためにありがとうございます（2）
- ・町民も行政もこの町が大好きでありたいと思う
- ・当町の行政機関（特に役場）は各部門よくやってくれていると感謝している。全く不満はない
- ・役場の係のかたがた、きらくの窓口の人たち皆さん親切です。人もまちも気候も素晴らしいと思

ってますので、このまま住みたいと思っている

- ・職員削減
- ・役場職員が多すぎる。職員の対応も悪い時がある
- ・もっと各職場、自治会に積極的に顔を出し交流の中で代表の考え、希望等を共有するような取り組みを考えてほしい。トップの選挙は必要。審判を受ける必要がある
- ・イベントで町民がステージに立ち、日々の練習の成果を披露しているとき、各課の代表のかたがたなどステージに背を向け会話、お酒で盛り上がり。町を代表するかたがたかと思うと残念でならない
- ・立派な計画より実施できる計画を作成してほしい。アポイ山荘の活用。最終的には行政の責任だ
- ・職員人員数の配置が適正でないように思える。数が足りていないのでは？
- ・スリム化は必要だ
- ・教育行政の職員数を減じるべき
- ・公営住宅の家賃を下げて、空き部屋を埋めた方が家賃収入が上がるのでは
- ・生活館の掃除は行政がすべき
- ・町職員はもちろん議員も国家財政について勉強を。お金について勉強して、道や国にどんどん意見要望を要求すべき
- ・町議会を夜にして、若い人でも議員となれるような体制を。議会内容を録音し CD 化して図書館などで貸し出しできること
- ・議員の人数が多すぎる
- ・議員の人数が多い気がする。質問の質もどうかと。本当に町のことを考えてくれているのか

○広報・広聴～3 件

- ・回覧と一緒にくるチラシが毎回多すぎる。節約を
- ・目安箱などを設置して町民が困っている事や意見などを集め、今後の政策などを決めるべき
- ・4 年後の町議会を解散し、大事な決め事は自治会長会議を主に決めていく制度にしてほしい。人口もこれだけ少なくなったら税収も減り、無駄なお金を使わないことを望む

○まちづくり関連～6 件

- ・ジオパークばかりじゃなんだか寂しい気がする
- ・もっと町民の話を耳を貸して。偉い人の考えだけがひとり歩きしている
- ・独身、子どものいる世代、老人等、さまざまな年代を集めて話す機会があるといい。
- ・元気なまちにしてほしい
- ・行政主導のまちづくりではなく、町民主導のまちづくりを考えてほしい
- ・何事においても、もっと一般町民を巻き込んだ議論、参画を願いたい

○人口減少対策～1 件

- ・過疎化の対策をもっと進めてほしい。人口増加

○移住～1 件

- ・気候も過ごしやすく食べ物もとても恵まれ、暮らしやすく、その点ではとてもすばらしいまち。移住事業にももう少し力を入れられないか

○公共交通の整備～4 件

- ・JR の無駄に走っている空バスを見ていると、なぜもっと良い走りができないものか。例えば苦小牧に行くにしても 4 時間半はきつい。3 時間くらいで走ってくれるくらいの配慮がほしい。病院

に間に合うとか、これから高齢化時代なので特に思う

- ・バスの運行、今より不便にならないでほしい。特に高校への通学など
- ・早くバス交通の良い方法を考えてほしい
- ・鉄路の復帰がむずかしい現状であれば、様似～苫小牧間のバスの充実を。できるだけ短い時間で往復できるよう工夫を

○上下水道～2件

- ・下水道整備を至急進めるべき
- ・たびたび水道水の濁りがあるが、どのようなことなのか。良くなったら放送して伝えてほしい。いつ安心して使ったらよいかわからない

○防災対策～7件

- ・放送設備が遠くに設置されているため、家の中は勿論のこと屋外にいても何を放送しているか解らない。増やすことはできないのか？
- ・安全な逃げ道をつくるべき
- ・日高地方は地震や津波の心配がある。津波警報は解除されるまで時間がかかる。高台や裏山は標高が十分だが、建物がないため、雨や雪から身を守ったり、トイレの心配がある
- ・各世帯ごとの防災無線等を設置してほしい。放送が聞こえにくかったり、わからないことがある
- ・ラジオが受信できない。災害時等の生活に困る
- ・小学校が改築されたのに水害すら避難場所にならない。大雨時の排水ポンプの常設が必要。消防車のポンプは緊急時に使用できなくなる
- ・ジオパーク認定にこだわりすぎ。認定されなくてもアポイはアポイだし、経費もかなりかかっていると思うが、その前にすべきことがある。冬に津波があった場合、逃げる場所がない

○高齢者福祉～1件

- ・免許証返納についての施策はないのか。ジオパークは中止すべき

○学校教育～5件

- ・未来を見据えた学習に力を入れてほしい（例えば英会話、運動を小さい時から無償で）
- ・学校給食の早期実現（2）
- ・給食実施の要望が多いのに明確な計画、行動がされなく待たされすぎて希望が持てない
- ・何年も前から給食の話が出ているのに全く進まない。やる気がないなら、こういう選択の中にも入れなければいい。何かを望んでもそれに対してやれない話ばかりされて全く変えようとしなから、何も望めない

○農林水産業～2件

- ・新規就業で入ったいちご栽培のかたがたが今後も引き続き暮らしていける収入増の形になってほしい
- ・農業後継者がいないと思う。いちごの就農ばかりでなく、そちらにも目を向けて

○商工業～1件

- ・地域商品券について、経済的余裕のあるかただけが恩恵を受け、余裕のないものは商品券を買うことも困難。恩恵を町民が広く受けられるように考えてほしい。財政補助を行っている団体等への天下り先での長期化があるので、再考を

○観光・イベント～4件

- ・観光案内所を年間経営して様似の特産品を販売すべき

- ・海水浴場のアナウンス、遊泳基準の見直しを
- ・アポイ山荘の全体的に漂う「やる気のなさ」をなんとかしてほしい。町外から来た客を連れて行くのが恥ずかしくなる
- ・アポイ山荘の改革を

○雇用の促進～1件

- ・足元をよく見た産業の後押し

○道路の整備～4件

- ・横断歩道の見直し。児童、高齢者の命を守る最善の行動
- ・通行止めで日高耶馬溪、様似ダムが見れない
- ・町道をきれいにしてほしい（木や花など）
- ・道路が古くなってひび割れや雨水が溜まるので、整備してほしい

○ボランティア活動～1件

- ・お年寄りの活用を（子ども、交通安全、訪販活動の見守り）

○その他～8件

- ・特になし（2）
- ・とにかく話し合いが必要
- ・免許センターに出向かなくても即日交付制としてほしい
- ・生活が大変。安心な生活を
- ・不公平な社会
- ・施設等の名称紛らわしいものあり（例⇒ふれあい）
- ・各自治会への助成金、あり方の検討を

“10年後のあるべき様似町の姿を表現するキャッチフレーズ” ～39件 全内訳

- ・町民主導の明るく楽しい生活づくり
- ・老人の町
- ・welcom 様似町 自然の豊かな町づくり
- ・常に前進 笑顔と希望の様似町
- ・～一人ひとり小さな力
- ・小さくても豊かなまち さまに
- ・助け合おう、ふれあう手が心を結ぶ
- ・笑顔がいっぱいの町
- ・さまニーズ！みんなでつくる様似町！
- ・町民自ら考えるまちづくり。あなたも主役です。さあやってみよう
- ・自然が優しい様似町
- ・子どもの未来が輝く 住みよい町
- ・キャッチフレーズは必要なし
- ・一歩ずつ近づく限界集落、これで良いのか様似町
- ・ガンバレ
- ・どこにも負けない 住みよい 井中（いなか）づくり～！！

- ・今の自然を未来に
- ・高齢者が住みたいと思うまちづくり
- ・「清潔」が入ったキャッチフレーズ
- ・どなたサマニも良い町
- ・共にあゆむ
- ・人と人とのつながり支え合いで安心して暮らせるまちづくり
- ・元気のある村づくり
- ・郷土愛、支え合い、笑い合い
- ・明るい窓口 スッキリ行政
- ・子どもたちの笑い声が聞こえる町へ！！
- ・元気な仲の良い町
- ・町民が歩む創造豊かな元気な人づくり
- ・人口が少なく、事業者も日高管内の他町と比べて少ないが、元気がある
- ・自然豊かな子どもたちの笑顔こぼれる様似町
- ・まだ自然と呼べる自然が残っている。町にゴミが落ちていない
- ・豊かな生活（暮らし？）、楽しい町、様似町
- ・多子、高齢の町、様似町
- ・復活様似町
- ・「町民と歩む」→すてきです
- ・ああ～病院もねえ、人もいねえ、昆布もねえ、オラ、札幌さいくだ
- ・安心・安全・のどかな様似町
- ・様似による、様似のための、様似の生き方、様似町の可能性は無限大！！
- ・ここに来て！感じて！、この町の良さ！

“様似の良いところ、好きなところ”～164件 全内訳

○自然環境～92件

- ・自然（19）
- ・海・山・自然の姿（4）
- ・自然。海が近く山が近い。山菜が採れたり、魚が釣れたり
- ・山、川、海。自然がいっぱい
- ・海
- ・海沿いに面していて、豊かな自然を目の当たりにできる場所
- ・海がきれい。海産物が美味しい
- ・天然記念物級の動植物に簡単に会える
- ・観音山は町民で守るべきもの
- ・ちょうど良い高さのアポイ岳、西町の親子岩と海岸の美しさは良いと思う。
- ・山や清流に恵まれている
- ・自然に恵まれている（3）
- ・自然が豊か（8）

- ・歴史ある町で自然豊か
- ・豊かな自然、深い歴史、熱き人情。しかし **only** ではない多様性があることをもっと知るべき
- ・自然がたくさんで磨けば光るところばかり
- ・自然と気候
- ・自然と人間味
- ・気候、自然、人が少ないところ
- ・アポイの風景 (2)
- ・アポイと海
- ・国道沿いから眺めるアポイ岳
- ・アポイ岳や親子岩があり、景観が良い
- ・好きなところ、アポイ、エンルム岬、親子岩
- ・親子岩、エンルム岬、会所町の国道カーブから見るアポイ岳
- ・ジオパーク、アポイ、その他の自然
- ・ジオパーク認定のアポイ岳、親子岩、エンルム岬などなど素晴らしいところがたくさんあり、海山等ともに見るところがあって良い
- ・アポイ岳があり、発電所、ダムがあり、親子岩、観音山そして太平洋が広々としているところ
- ・アポイの山や植物、親子岩等、自然で観光になるものはいい
- ・アポイ岳、親子岩などの自然環境の良さ、ヒグマ、鹿を含む貴重な野生の動植物の生態系
- ・アポイ岳や親子岩など、山と海があり自然豊かなところ
- ・アポイ岳を含む自然財産
- ・毎日アポイの山並みを眺める
- ・親子岩 (2)
- ・親子岩、アポイ
- ・公園の方から見る親子岩の夕日
- ・親子岩の夕日。観音山から見た様似町の景色
- ・海、山。のどこかで大きな事件もなく悪い人もいないと思う。親子岩の夕日は最高
- ・景色が良い (8)
- ・景色がきれい (6)
- ・日高沿岸の景色はとても素晴らしいと思う
- ・塩釜トンネルを抜けた時の景色は素晴らしいと思う
- ・風景が良い (3)
- ・景観が素晴らしい
- ・海沿いの景観
- ・海の幸、山の幸があり、景観があり、将来この自然が財産となる

○人間関係～20 件

- ・人
- ・人間関係 (3)
- ・人がやさしい (5)
- ・人柄の良い町
- ・地域住民とのかかわりが強いところ

- ・近所のかたがたがあたたかい
- ・近所のつきあい
- ・思いやりのある人多い
- ・人情味
- ・漁師町だが、人が穏やかでのんびりしているところ
- ・住み良い、空気が良い、人間関係が良い。様似町が一番良いと思っている。どこへいっても 2、3 日で様似に帰りたくなる、安心する、空気が最高
- ・女性がとても元気なところ
- ・アポイ岳を大切にしている人がたくさんいるところ。そして、大切にしようとする子どもたちを育てているところ
- ・まだまだ古き良き時代の日本、様似のよいところが残っている。そして、それを続けていこうとする町民がまだまだ存在し、受け継ぎ、実行しようとする人がいて意欲がある。そういう町民を大事にしてもらいたい

○食べもの～2 件

- ・魚がおいしい
- ・ツブ、コンブ、毛ガニ、ウニ等最高

○気候～23 件

- ・冬暖かで夏涼しい。金があつて何も考えず暮らせると最高の町
- ・夏は涼しく、冬は雪が少ない (9)
- ・冬に雪が少ない (2)
- ・冬は雪が少ない。空気が良い
- ・季節がちょうど良い (2)
- ・気温が一定で雪もそれほど降らない
- ・一年を通して暮らしやすい気候
- ・気候にも恵まれて自然豊かなところ
- ・景色・静寂・人
- ・景色や気候はとても良いし、好き。住みやすいと思うのは気候の面だけ
- ・自然豊かで、人が良いところ
- ・自然がたくさんあり、魚介類もとても美味しく、一年を通してとても過ごしやすい。協力してくれる人もたくさんいて、良いところだと思う。
- ・豊かな自然は日高一と思い、365 日、朝も夜もその時々ドラマに心動かされたり感動したりしており、この自然をいつまでもと思う

○安全面～4 件

- ・災害が少ない (2)
- ・防犯活動も不必要なほど治安が良い
- ・あまり変な人、犯罪がない。交通量が少ない。みんな知り合い

○その他～23 件

- ・様似町はいいところだと思う
- ・特にない (5)
- ・いまひとつつかめない

- ・ 保育料の無料（子どもの数による）や医療の面は助かる
- ・ スポーツセンター等の利用が無料なこと
- ・ 自然、馬牧場、学校設備、図書館
- ・ 中心部に施設がまとまっていて、住みやすい
- ・ まちが役場周辺に集まっているので、利便性が良い
- ・ 特にないが、静かで住みやすい
- ・ 住みやすい
- ・ 住みやすくゆったりとした気持ちでいられる
- ・ 80 年生きてきたが、やっぱり住みよいまちだと思っている
- ・ 行政に携わる係のかたがとても親切。若い人たちの働ける場所があることを願う
- ・ 自身の引っ越しの手続きの際、役場職員のかたがたが親切に対応してくださってありがたかった
- ・ 役場での事務処理等では、皆さん親切。人口の多い地域では、時間がかかるものも短時間でスムーズにできる
- ・ 観光だけは一番
- ・ あまりうるさくないところ。一部地域の間人は嫌い。ケンカ好きの人がいる
- ・ 様似町に入浴、食事をする場所がある。1 日も早く老人入浴、バスの無料化を。隣町では実行している
- ・ 田舎町らしい